

九州経済の現状

(2024年版)

経済産業省
九州経済産業局

カラー版PDFデータ:

九州経済産業局



[経済動向・統計](#) > [経済動向 \(鉱工業動向等\)](#)

目次

はじめに	3
1. 九州経済の概要	4
2. 農業	1 1
3. 製造業	1 3
4. 貿易	2 1
5. 消費	2 3
6. 雇用	2 6
7. 設備投資	2 7
8. 住宅	2 8
9. 開業・廃業	2 9
10. 倒産	3 1
参考	3 3

※データ利用上の注意

- ・各データの地域ブロック区分は、経済産業局の所管区分により、全国を北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の9ブロックに分類している。そのため、当資料の「九州」は、注などの記載がない限り、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県を表す。
- ・出所元の統計データに秘匿がある場合は、全国比などの数値が実態と合わないことがある。
- ・本書掲載の図表やデータを使用する際は、出所元の最新情報を確認し、無断で使用しないこと。
- ・グラフの出所は2025年4月末時点の最新データをもとに九州経済産業局作成。
- ・年間補正等により数値が変更される場合がある。
- ・調査対象の見直し等によりギャップが発生している場合、前年（同期、同月）比増減率は、ギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している。
- ・当資料の表、グラフの数値は、単位未満を四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

はじめに

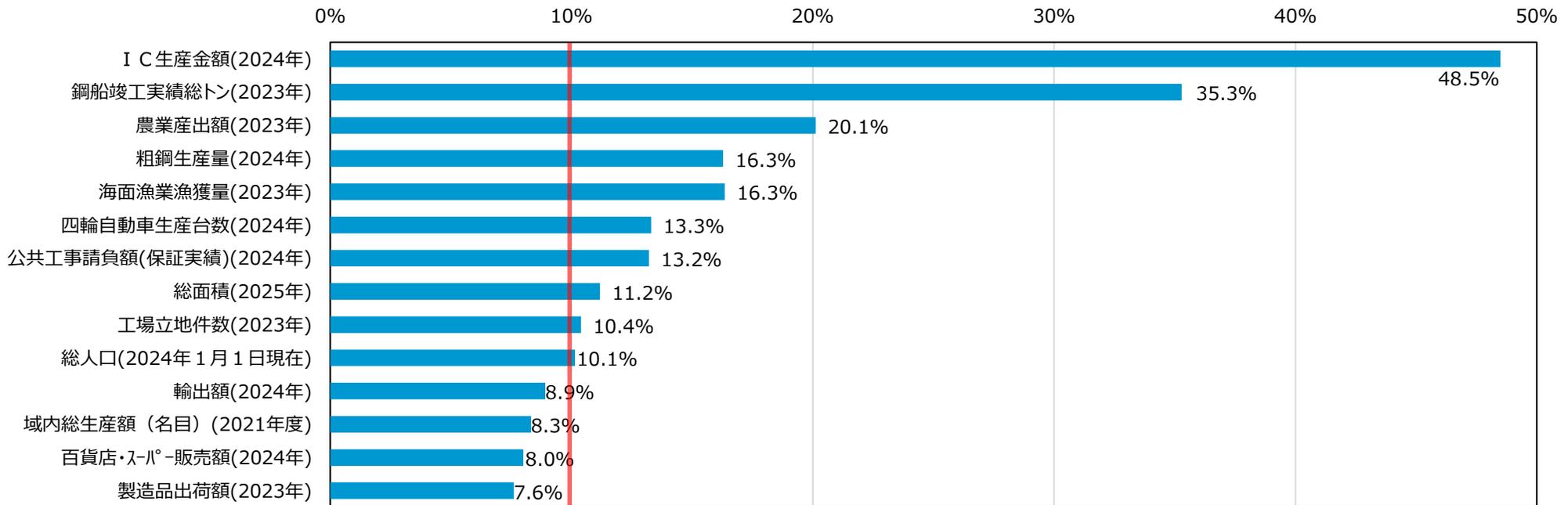
九州は、日本の南西部、東アジアのほぼ中心に位置しており、古来より海外との交流拠点としての役割を担ってきた。現在では仁川、上海、台北等の主要都市へ概ね3時間以内で行くことができるなど、日本におけるアジアの玄関口である。2020年以降コロナ禍により大きな影響を受けた海外との往来は、国際定期便の運行やクルーズ船の寄港が順次再開し、さらなる増加が期待されている。

また、温暖な気候を有する豊かな自然環境を背景に農業地域として発展した九州は、19世紀後半から20世紀の初頭にかけて、官営八幡製鉄所の設立をはじめ、造船、石炭産業等、海外からの技術導入により明治日本の産業革命において大きな役割を果たした。近年では、産業構造の変化に伴い半導体や自動車に関連する産業の集積が進み、生産拠点としての役割をより一層増しつつある。

1. 九州経済の概要 —経済規模—

九州は、人口（全国比10.1%）や面積（同11.2%）、域内総生産額（名目）（同8.3%）といった、経済の基礎となる指標は概ね全国の10%程度であることから、九州の経済規模は「1割経済」と言われている。

図表 1 - 1 全国に対する九州のシェア



(出所) 国土交通省「造船造機統計調査 造船統計月報」、農林水産省「令和5年生産農業所得統計」、「令和5年漁業・養殖業生産統計」、国土交通省「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、財務省「貿易統計」、内閣府「令和3年度県民経済計算」、総務省・経済産業省「令和5年経済構造実態調査」、経済産業省「生産動態統計調査」、「商業動態統計月報」、「工場立地動向調査」

1. 九州経済の概要 –域力–

九州の域内総生産額はシンガポール、南アフリカと同等の経済規模である。

図表 1 - 2 地域ブロックの“域力”

	国名及び 地域名	域内総生産 (100万米ドル)	人口 (千人)	面積 (万Km ²)		国名及び 地域名	域内総生産 (100万米ドル)	人口 (千人)	面積 (万Km ²)
1位	アメリカ合衆国	23,594,000	336,998	983	19位	トルコ	819,865	84,775	78
2位	中国	17,820,459	1,425,893	960	20位	スイス	813,409	8,691	4
3位	日本	5,032,800	125,502	38		近畿	812,619	21,254	3
4位	ドイツ	4,278,504	83,409	36	21位	台湾	773,135	23,860	4
5位	インド	3,175,276	1,407,564	329	22位	ポーランド	681,346	38,308	31
6位	イギリス	3,141,506	67,281	24	23位	スウェーデン	639,715	10,467	44
7位	フランス	2,959,356	64,531	55	24位	ベルギー	600,749	11,611	3
	関東	2,322,080	52,204	7		中部	583,690	13,472	3
8位	イタリア	2,155,360	59,240	30	25位	アイルランド	513,392	4,987	7
9位	カナダ	2,001,487	38,155	998	26位	タイ	505,568	71,601	51
10位	ロシア	1,836,891	145,103	1,710	27位	ノルウェー	490,293	5,403	32
11位	韓国	1,818,432	51,830	10	28位	イスラエル	489,710	8,900	2
12位	オーストラリア	1,752,688	25,921	769	29位	アルゼンチン	487,903	45,277	280
13位	ブラジル	1,649,623	214,326	851	30位	オーストリア	479,295	8,922	8
14位	スペイン	1,445,652	47,487	51	31位	ナイジェリア	430,924	213,401	92
15位	メキシコ	1,313,070	126,705	196	32位	エジプト	425,906	109,262	100
16位	インドネシア	1,186,505	273,753	191	33位	シンガポール	423,797	5,941	0
17位	オランダ	1,029,678	17,502	4		九州	420,158	12,803	4
18位	サウジアラビア	868,586	35,950	221	34位	南アフリカ	420,118	59,392	122

(出所) 各国データ(日本を含む) : 総務省「世界の統計」

国内地域ブロックの域内総生産 : 内閣府「令和3年度県民経済計算」

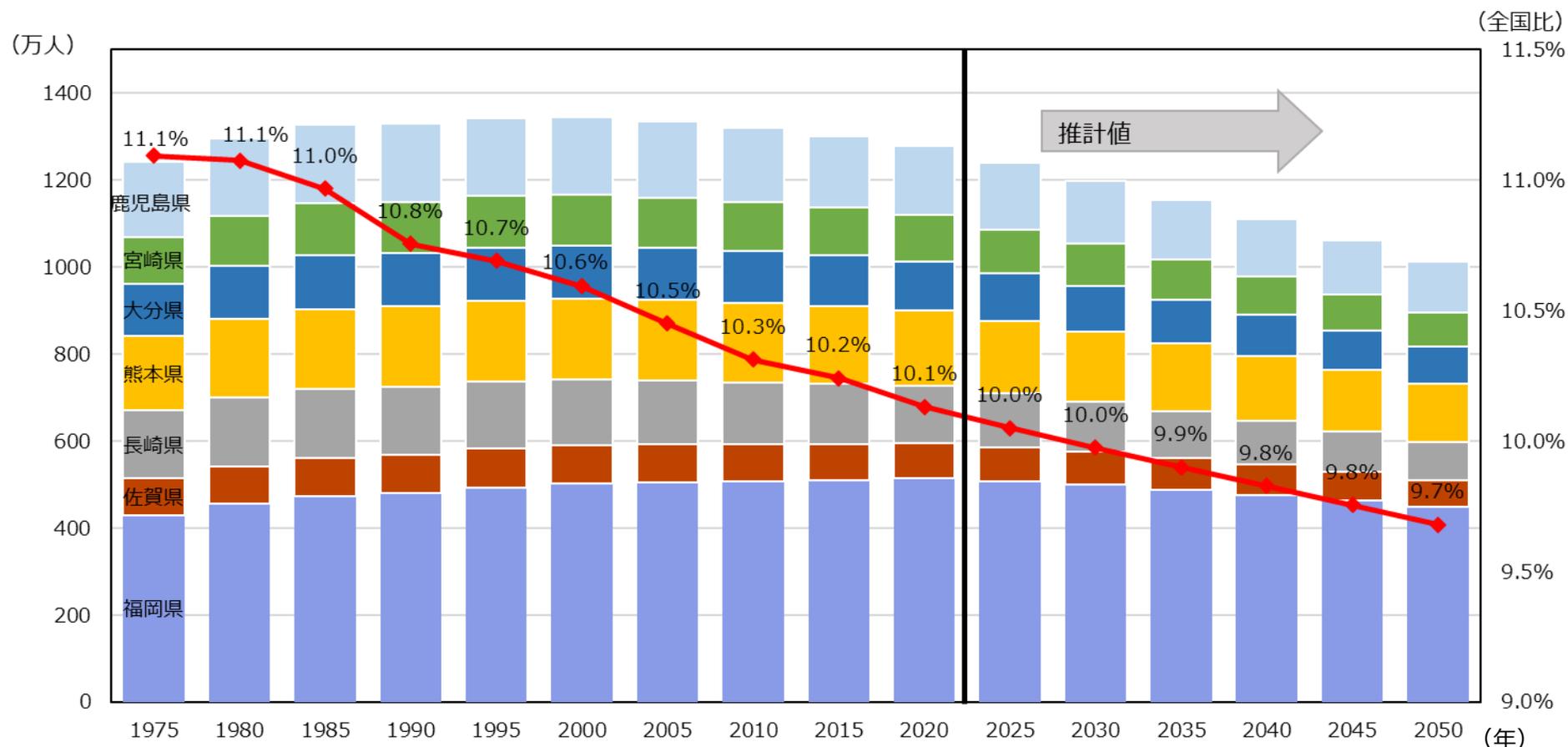
国内地域ブロックの人口 : 総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数(令和4年1月1日現在)」

国内地域ブロックの面積 : 国土交通省「令和4年全国都道府県市区町村別面積調」

1. 九州経済の概要 -人口推移-

九州の人口は1,278万人（2020年）と全国（1億2,615万人）の10.1%を占めているが2000年をピークに減少しており、2050年には1,013万人と、2020年比で20.7%減り、全国比も9.7%まで減少すると推計されている。

図表 1-3 九州の人口推移

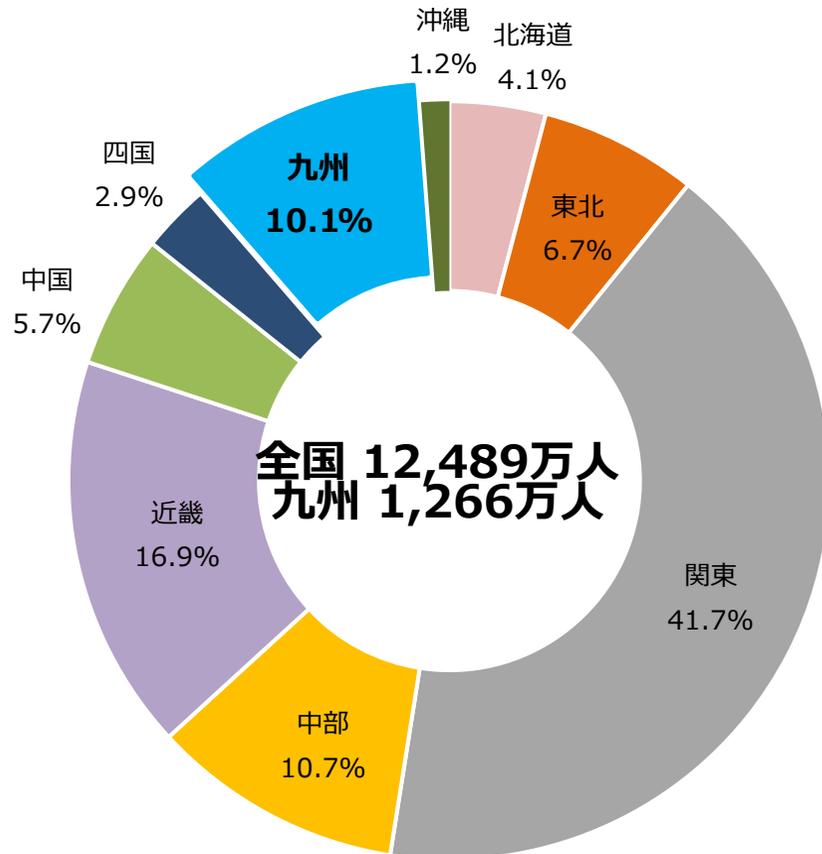


(出所) 2020年までは総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年（2023）年推計）」

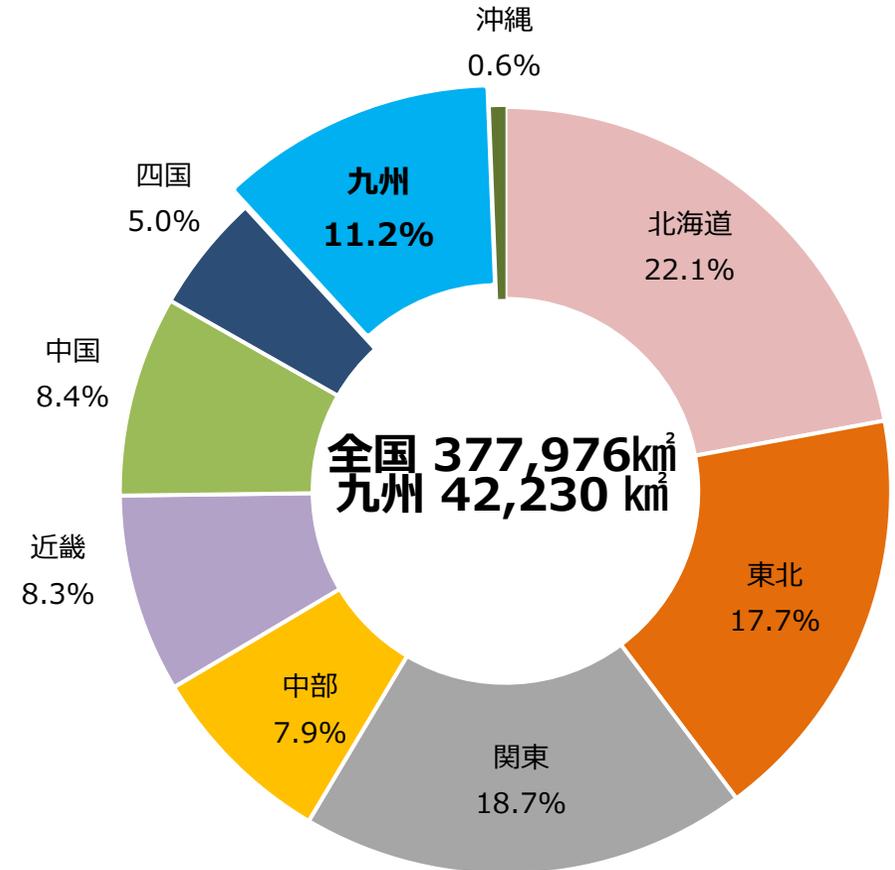
1. 九州経済の概要 –人口と面積–

九州の人口は1,266万人（2024年）で全国の10.1%、面積は42,230 km²（2025年）で全国の11.2%を占める。

図表 1-4 ブロック別人口構成比



図表 1-5 ブロック別面積構成比



(出所) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（令和6年1月1日現在）

国土交通省「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」（令和7年1月1日時点）

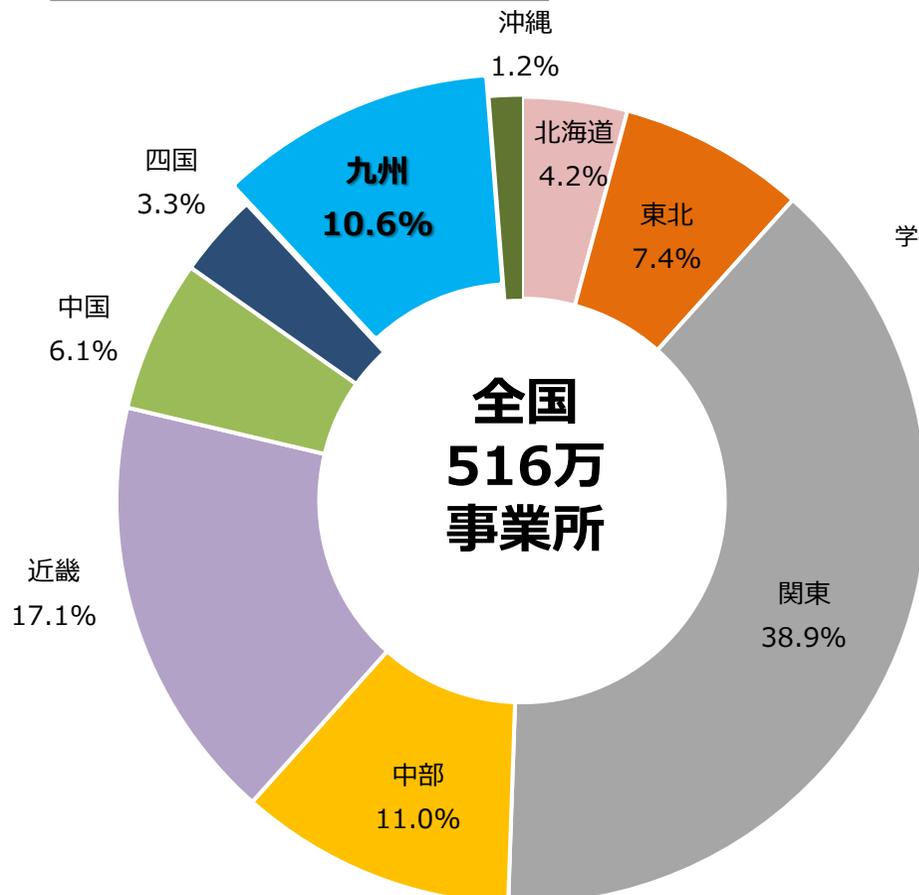
(注) 県境の未定地域については参考値を使用

1. 九州経済の概要 –事業所数–

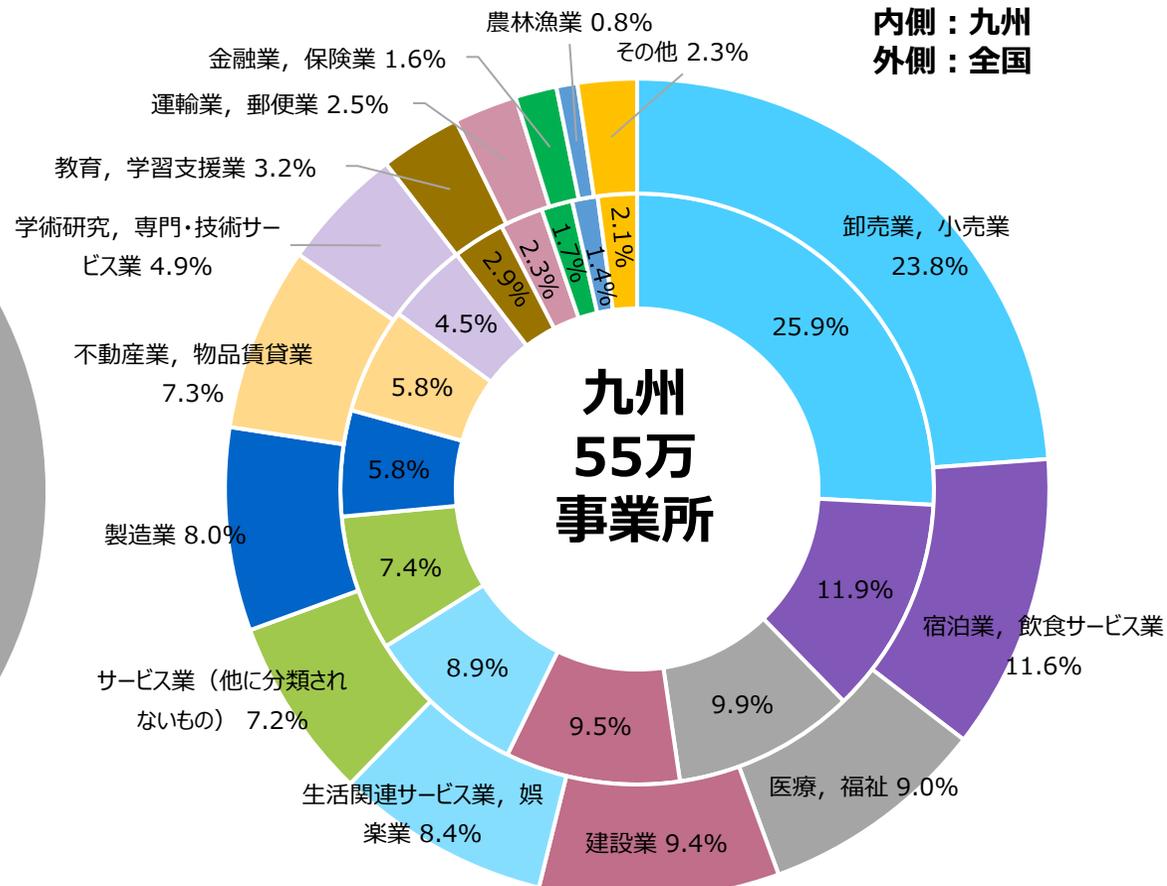
九州の事業所数（民営）は、約55万事業所で、全国の10.6%を占める。

事業所別構成比をみると、全国に比べて卸売業・小売業、医療・福祉等が多い一方で、製造業、不動産業・物品賃貸業は少ない。

図表 1 - 6 ブロック別事業所数構成比



図表 1 - 7 業種別事業所数構成比

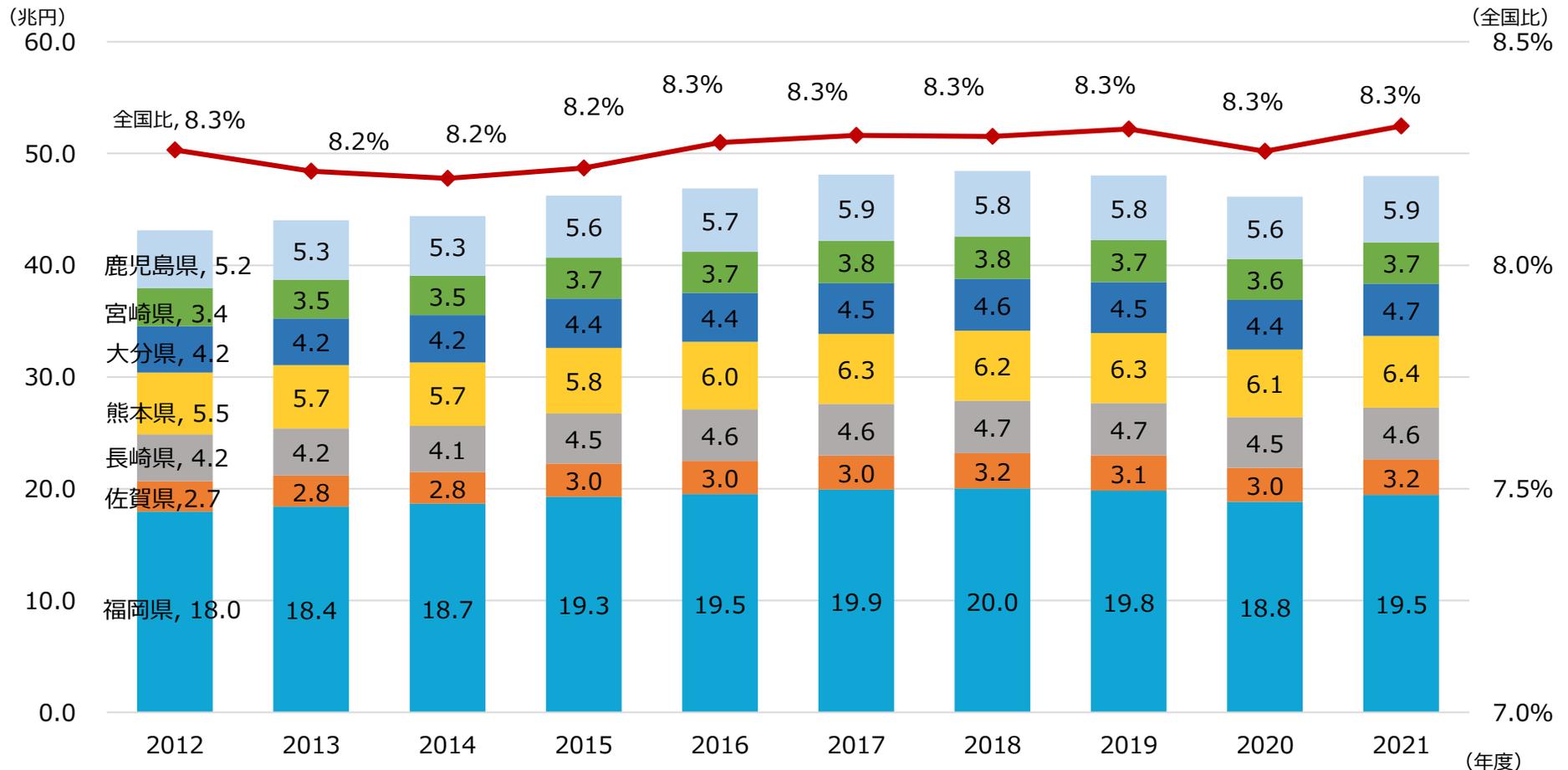


(出所) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」

1. 九州経済の概要 ―域内総生産の推移―

2021年度の九州の域内総生産額（名目）は47兆9,862億円、前年度比+4.0%、全国比8.3%となった。

図表 1 - 8 九州域内総生産額（名目）・全国比の推移

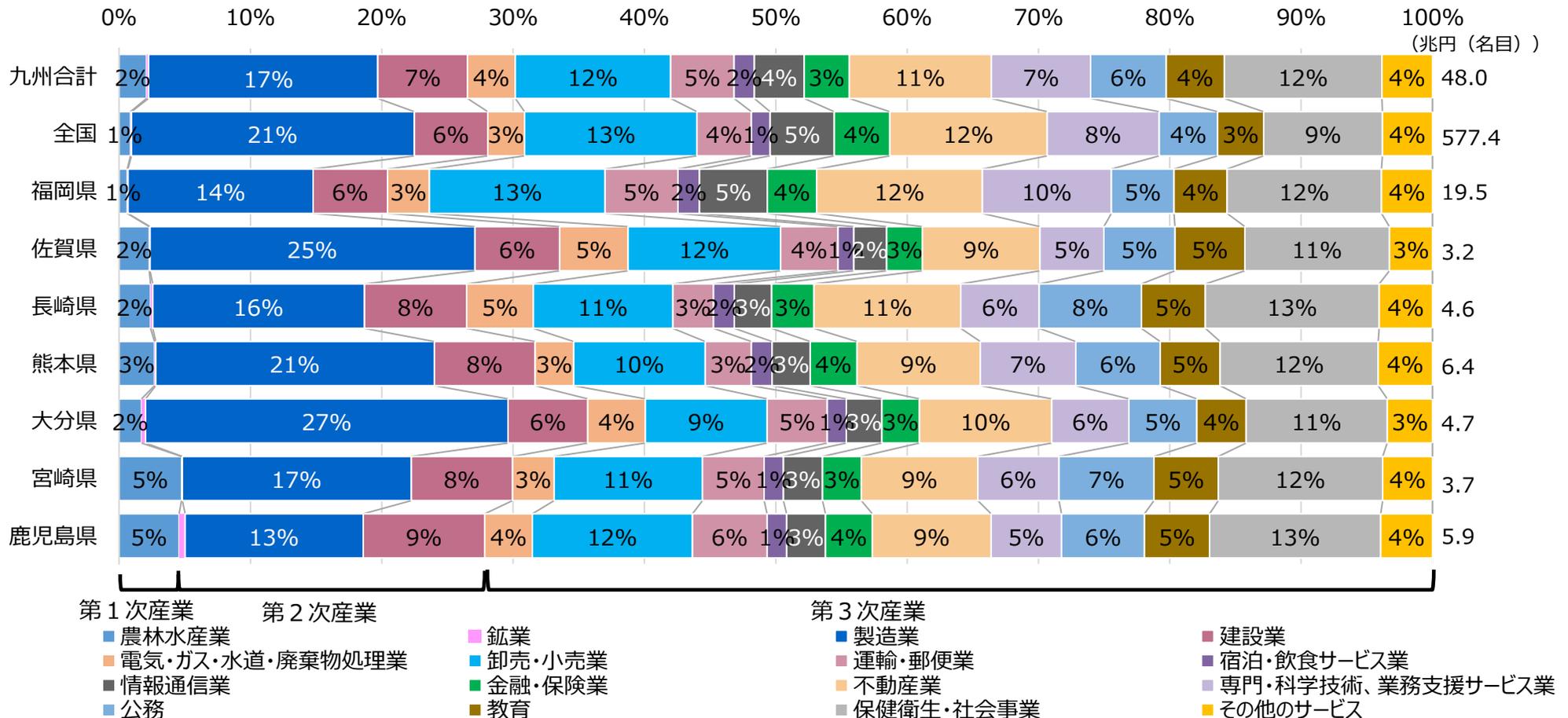


(出所) 内閣府「令和3年度県民経済計算」

1. 九州経済の概要 —産業別域内総生産—

2021年度の九州の産業別構成比は、第1次産業2.1%、第2次産業24.2%、第3次産業72.8%となっている。県別にみると福岡県の第3次産業は78.8%と全国及び九州を上回っている。また、佐賀県、大分県の製造業の割合は全国を上回っている。

図表1-9 経済活動別県内総生産



(出所) 内閣府「令和3年度県民経済計算」

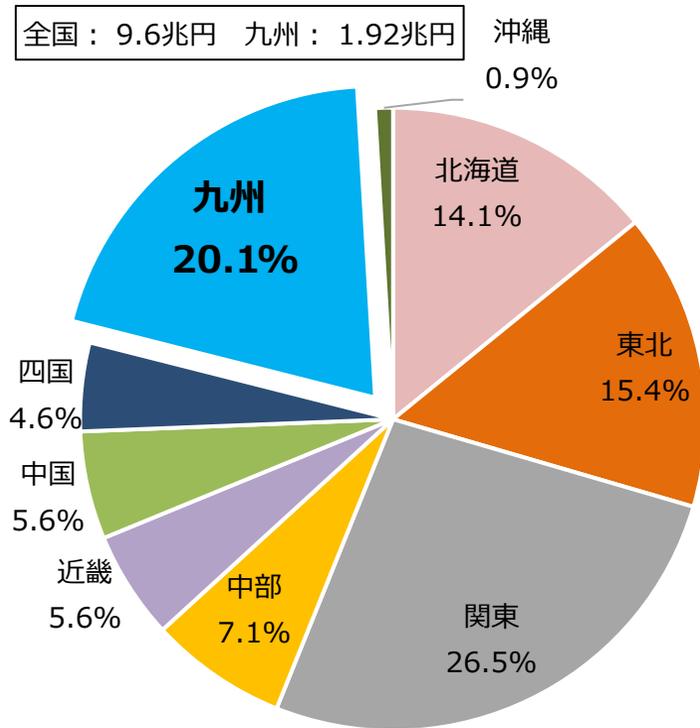
(注) 産業別構成比は域内総生産額を分母として算出してあり、合計は100%にならない

2. 農業 –ブロック別産出額、推移–

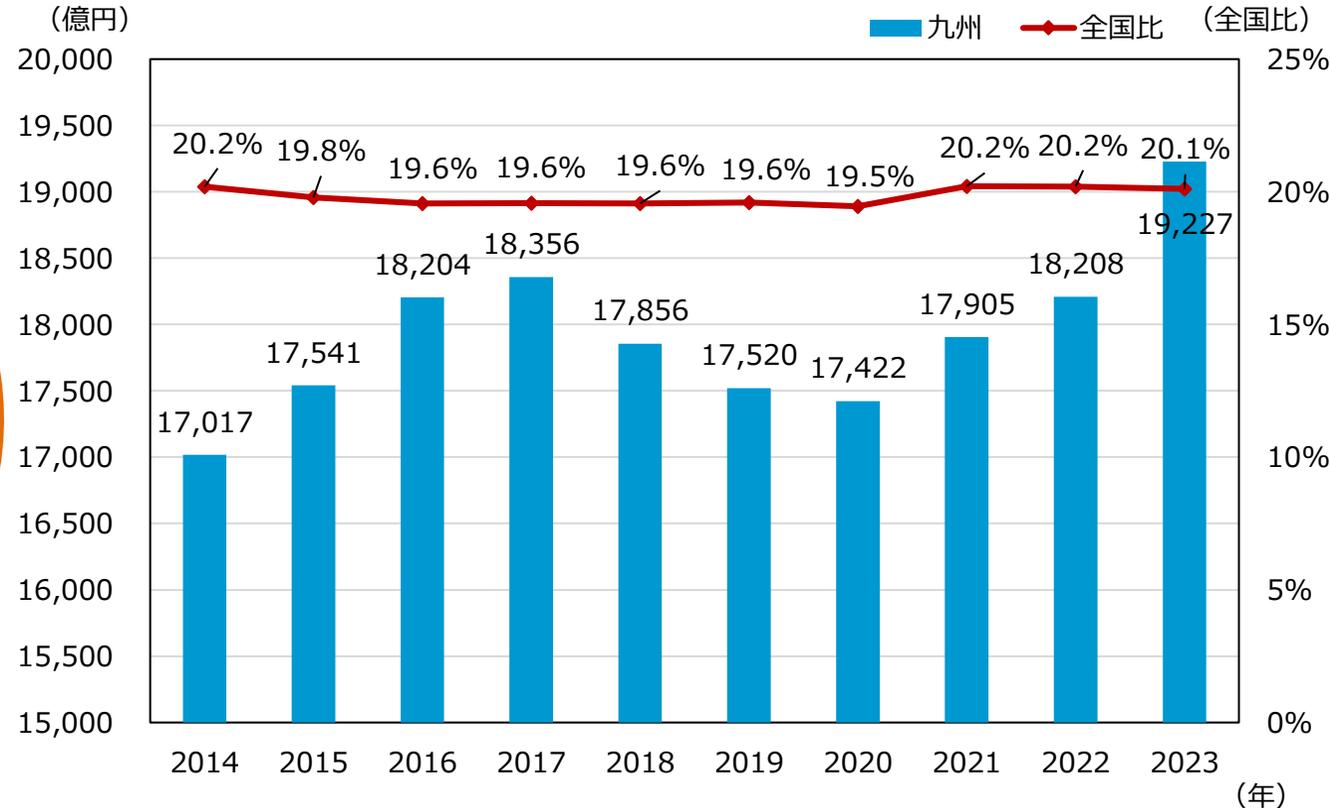
2023年の九州の農業産出額は約2兆円で、全国の約2割を占める。

推移をみると、前年比+5.6%と3年連続で前年を上回った。

図表 2-1 ブロック別農業産出額構成比



図表 2-2 九州の農業産出額・全国比の推移



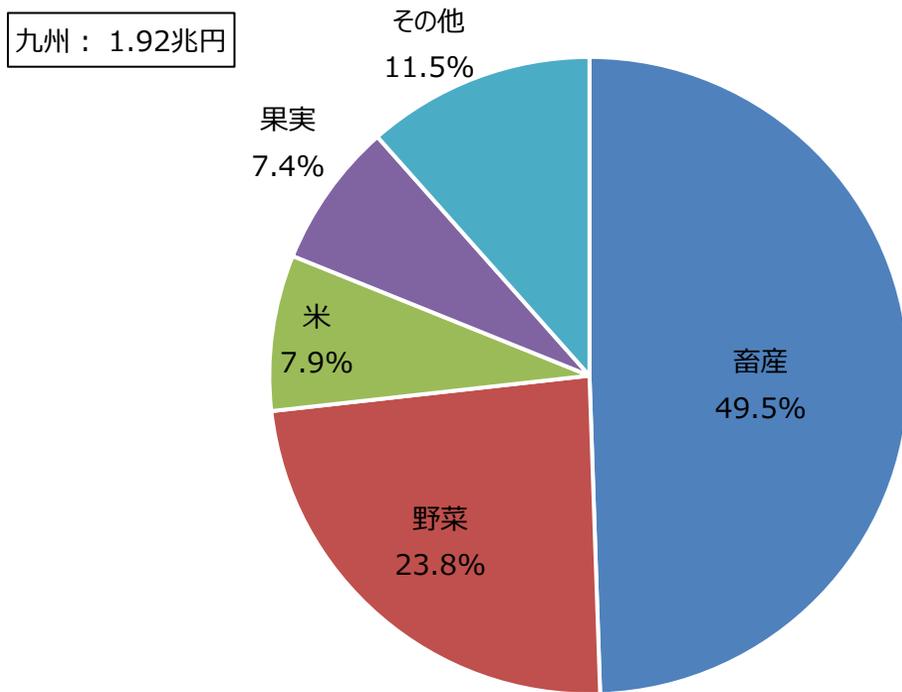
(出所) 農林水産省「令和5年生産農業所得統計」

2. 農業 一産出額の構成比、全国比一

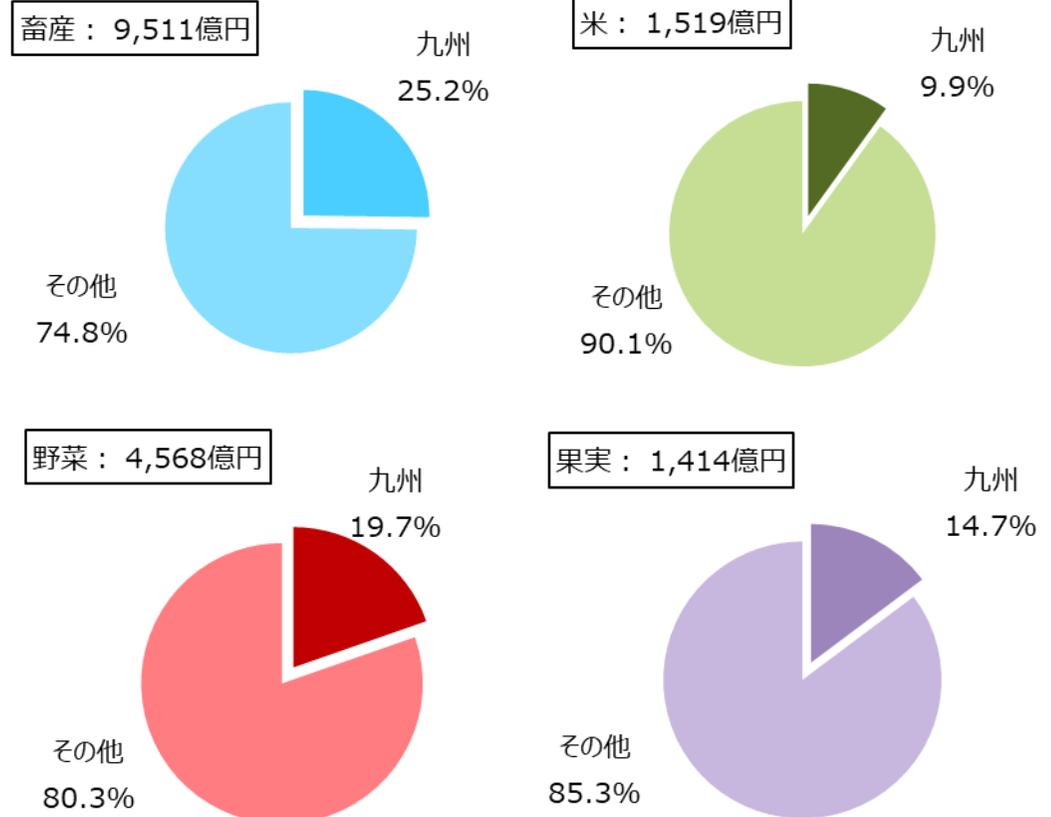
2023年の九州の農業産出額構成比は、畜産が全体の49.5%を占め、野菜（23.8%）、米（7.9%）と続く。

農畜産物別全国比をみると、畜産（25.2%）、野菜（19.7%）の割合が高い。

図表 2-3 九州の農業産出額構成比



図表 2-4 九州の農畜産物別全国比



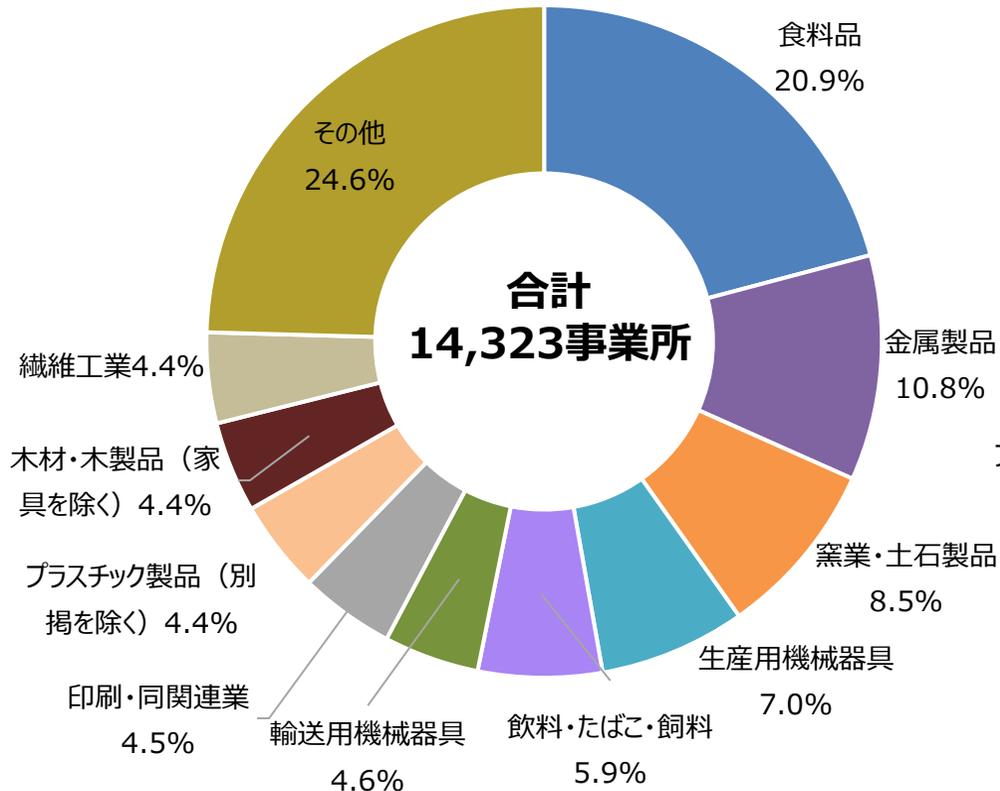
(出所) 農林水産省「令和5年生産農業所得統計」

3. 製造業－事業所数、従業者数－

2020年における九州の製造業の業種別事業所数をみると、食料品製造業が総事業所数の20.9%を占め、次いで金属製品製造業、窯業・土石製品製造業が続く。

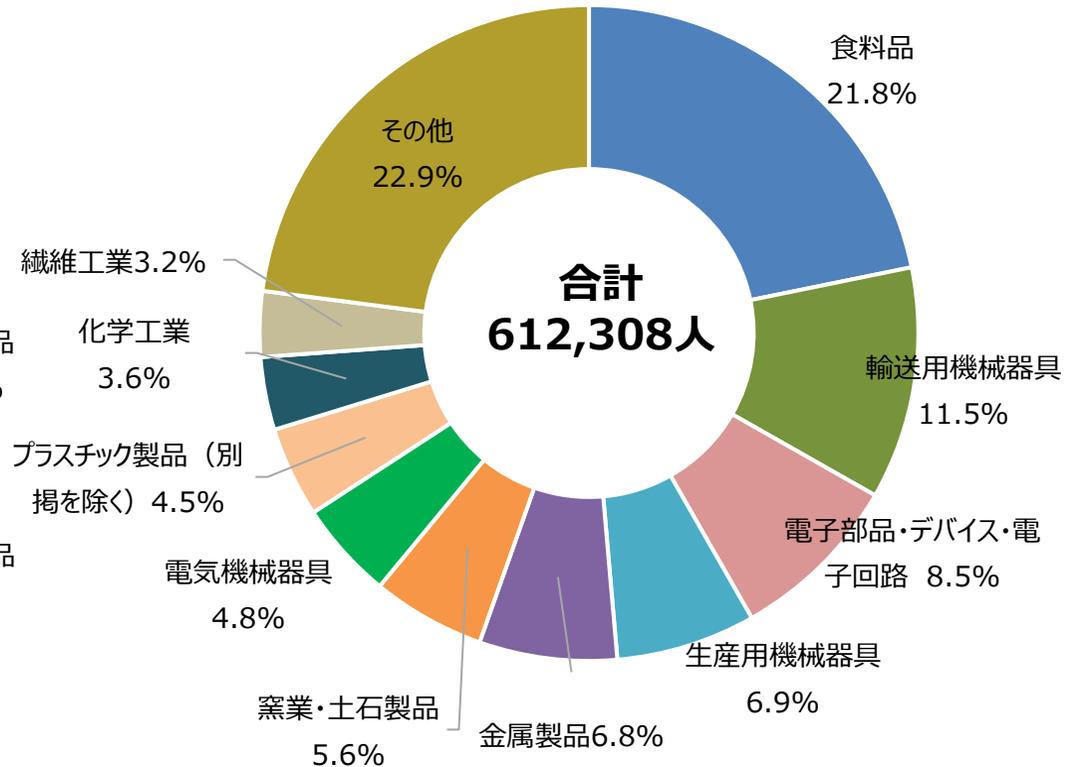
従業者数をみると、食料品製造業が全従業者数の21.8%、次いで輸送用機械器具製造業が11.5%、電子部品・デバイス・電子回路製造業が8.5%と続く。

図表3-1 九州の業種別事業所数（従業員4人以上）構成比



（出所）総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

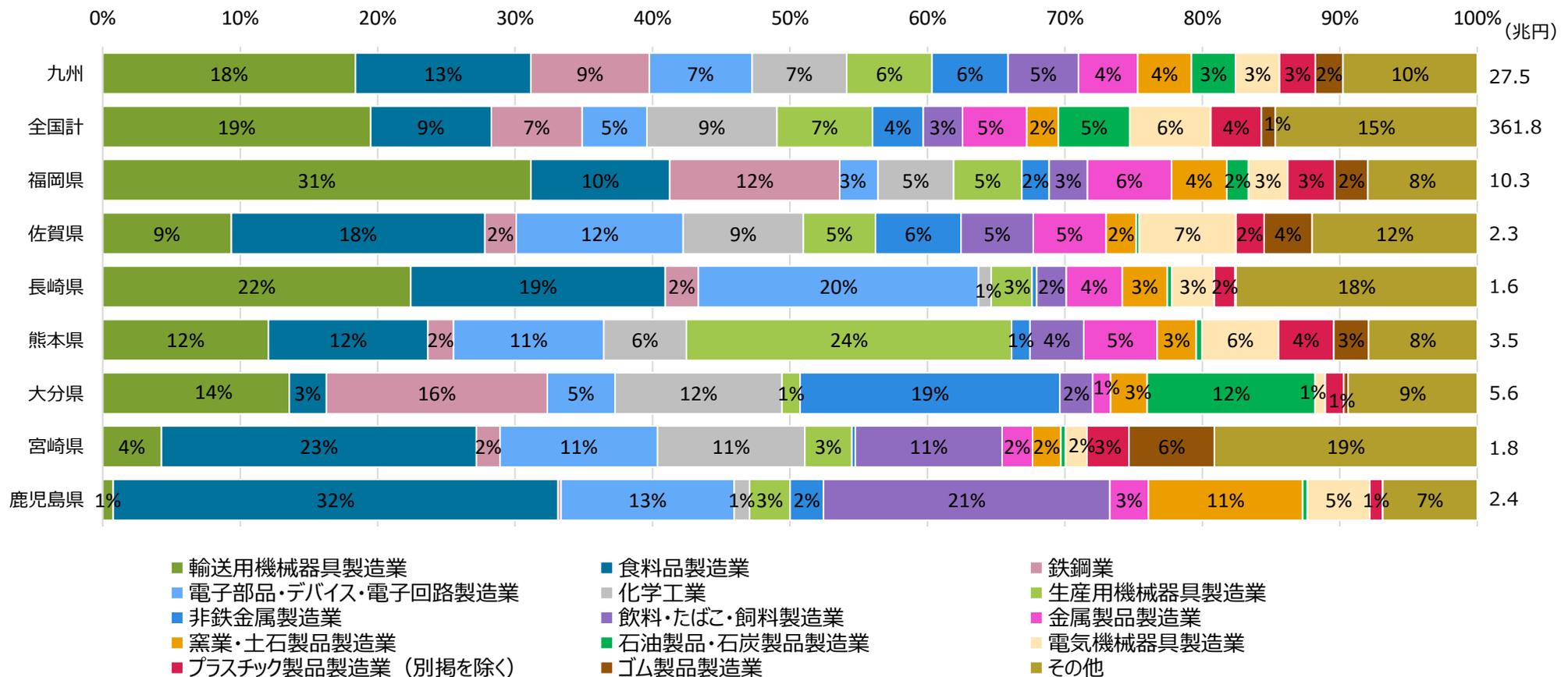
図表3-2 九州の業種別従業者数（従業員4人以上）構成比



3. 製造業 — 製造品出荷額等 —

2022年の九州の製造品出荷額等は27.5兆円で、業種別でみると、輸送用機械器具製造業が18%（5.1兆円）を占め、次いで食料品製造業が13%（3.5兆円）、鉄鋼業が9%（2.4兆円）と続く。県別でみると、福岡県では輸送用機械器具製造業、熊本県では生産用機械器具製造業、鹿児島県では食料品製造業の割合が高くなっている。

図表 3-3 業種別県別製造品出荷額等構成比



(出所) 総務省・経済産業省「令和5年経済構造実態調査」

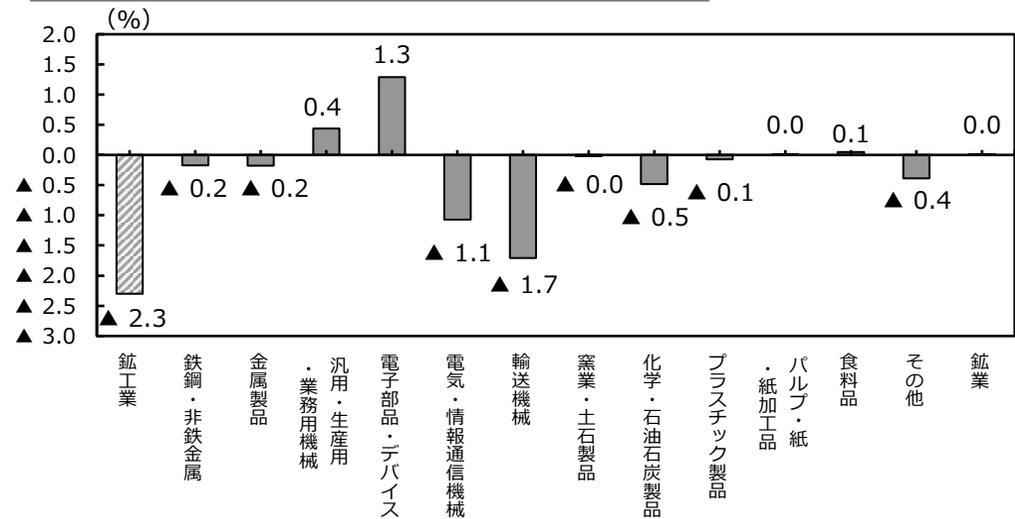
3. 製造業 — 鉱工業生産指数 —

2024年の鉱工業生産指数（確報）は106.1となり、前年比▲2.3%と4年ぶりに低下した。自動車関連の工場稼働停止や海外需要の下振れなどにより、「輸送機械工業」が低下したことに加え、「電気・情報通信機械工業」や「化学・石油石炭製品工業」でも低下した。

図表 3-4 九州と全国の鉱工業生産指数の推移



図表 3-5 業種別寄与度 生産



図表 3-6 主な上昇・低下業種、主な上昇・低下品目 生産

【生産】・・全13業種中、上昇5業種、低下8業種、横ばい0業種

	主な上昇・低下業種	前年比	主な上昇・低下品目
上昇	電子部品・デバイス工業	7.9	モス型IC（除、マイコン・ロジック・メモリ）、モス型IC（マイコン）等
	汎用・生産用・業務用機械工業	2.9	半導体製造装置、産業用ロボット等
低下	輸送機械工業	▲13.7	普通乗用車、軽・小型自動車等
	電気・情報通信機械工業	▲14.7	配線・照明用器具、開閉制御装置・機器等
	化学・石油石炭製品工業	▲5.3	有機化学製品（有機薬品・その他）、無機薬品・触媒等

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
九州	生産指数	111.8	110.4	100.0	105.6	107.8	108.6
	前年比 (%)		▲ 1.3	▲ 9.4	5.6	2.1	0.7
	出荷指数	113.6	111.5	100.0	103.6	103.8	108.1
	前年比 (%)		▲ 1.8	▲ 10.3	3.6	0.2	4.1
	在庫指数	99.6	102.2	94.2	95.3	101.1	101.0
	前年比 (%)		2.6	▲ 7.8	1.2	6.1	▲ 0.1
全国	生産指数	114.6	111.6	100.0	105.4	105.3	103.9
	前年比 (%)		▲ 2.6	▲ 10.4	5.4	▲ 0.1	▲ 1.3

（注）年の指数及び前年比は原指数。▲印は低下を示す。

3. 製造業 ー半導体関連産業（半導体関連事業所の立地状況）ー

九州地域には、CMOSイメージセンサー、車載用マイコン等で世界トップシェアを誇る大手企業、及びそうした企業を支える多数の中小企業が集積。約1,000社の企業により「**シリコンアイランド九州**」が形成され、長年にわたり九州経済の成長を牽引。

図表3-7 九州における主な半導体関連事業所

佐賀県

- ◇(株)SUMCO 九州事業所
【シリコンウエハ】

長崎県

- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
長崎テクノロジーセンター
【CMOSイメージセンサー】
- ◇SUMCO TECHXIV(株) 長崎工場
【シリコンウエハ】

熊本県

- (株)アムコー・テクノロジー・ジャパン 熊本地区
【後工程受託】
- 三菱電機(株) パワーデバイス製作所 熊本工場
【パワー半導体】
- Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
【前工程受託】
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
熊本テクノロジーセンター【CMOSイメージセンサー】
- ルネサスセミコンダクタマニュファクチュアリング(株) ■東京エレクトロン九州(株)
熊本川尻工場【LSI、車載向けマイコン】 【半導体製造装置】
- ルネサスエレクトロニクス(株) 錦工場 ■(株)荏原製作所 熊本事業所
【車載向けマイコン】 【半導体製造装置】

- 一貫工場 ●後工程工場 ■半導体製造装置
- 前工程工場 ◇材料

福岡県

- 三菱電機(株) パワーデバイス製作所 福岡工場 ○ローム・アポロ(株) 筑後工場 ○日清紡マイクロデバイス福岡(株)
【パワー半導体】 【各種IC】 【各種IC】



大分県

- ルネサスエレクトロニクス(株) 大分工場
【車載向けマイコン】
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
大分テクノロジーセンター
【CMOSイメージセンサー】
- (株)ジャパンセミコンダクター
【各種IC】
- (株)アムコー・テクノロジー・ジャパン 臼杵、大分
【後工程受託】

宮崎県

- ラピスセミコンダクタ(株) 宮崎工場
【各種IC】
- ◇SUMCO TECHXIV(株) 宮崎工場
【シリコンウエハ】

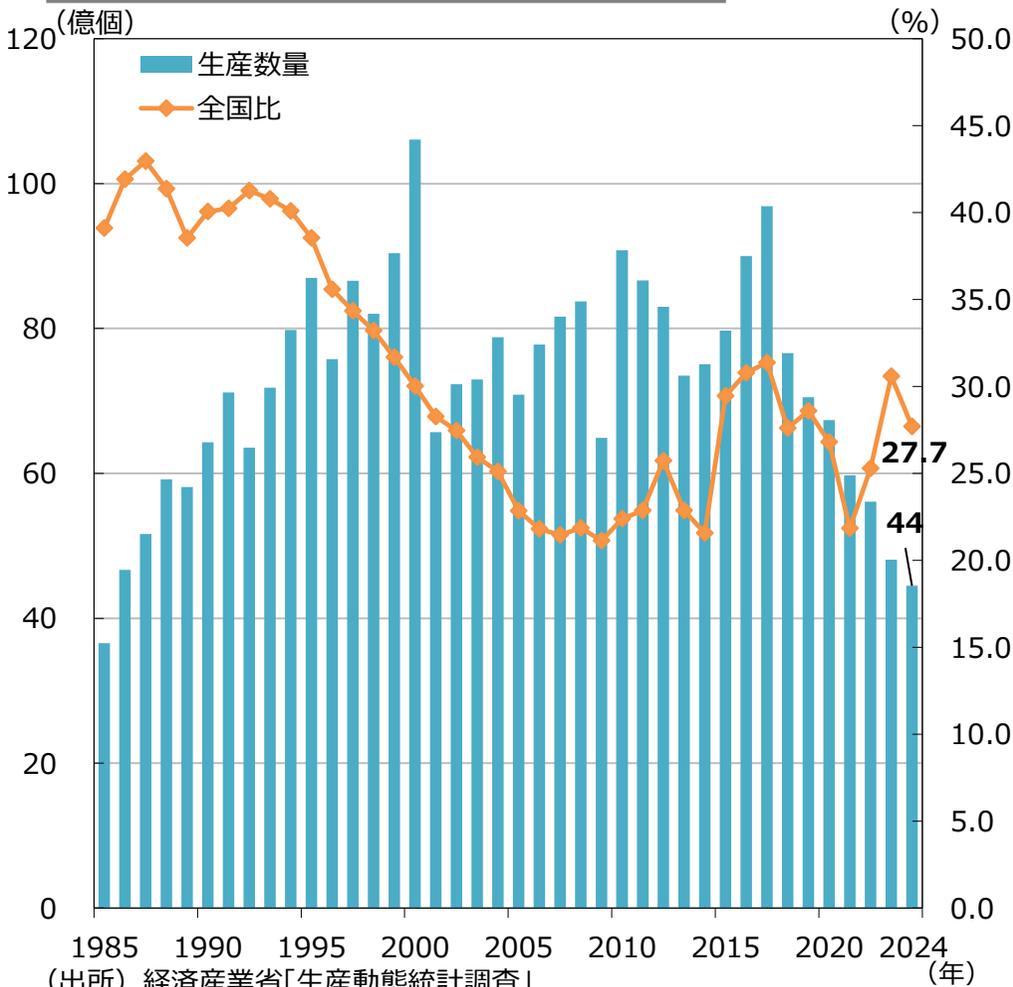
鹿児島県

- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
鹿児島テクノロジーセンター
【CCDイメージセンサー】
- 京セラ(株) 鹿児島川内工場
【半導体部品等】
- フェニテックセミコンダクター(株) 鹿児島工場 ●京セラ(株) 鹿児島国分工場・隼人工場
【ファウンダリー】 【積層セラミックコンデンサ等】

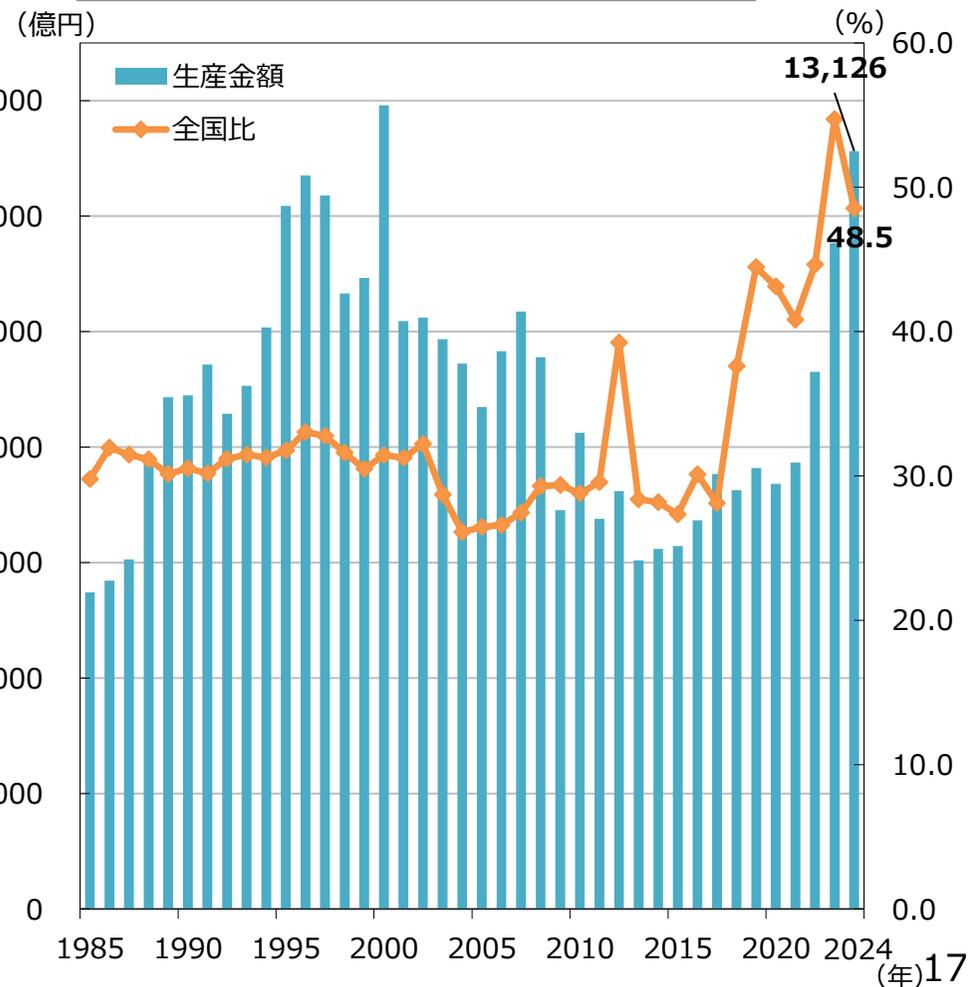
3. 製造業－半導体関連産業（集積回路（IC）生産数量、金額）－

2024年のIC生産実績は、高付加価値品などを中心に、高水準な生産が続いた結果、生産数量では7年連続で前年を下回ったものの、生産金額では4年連続で増加。生産金額は、24年ぶりに1兆3,000億円を超えるなど、1985年以降、過去2番目に高い水準となった。

図表3-8 九州のIC生産数量・全国比の推移



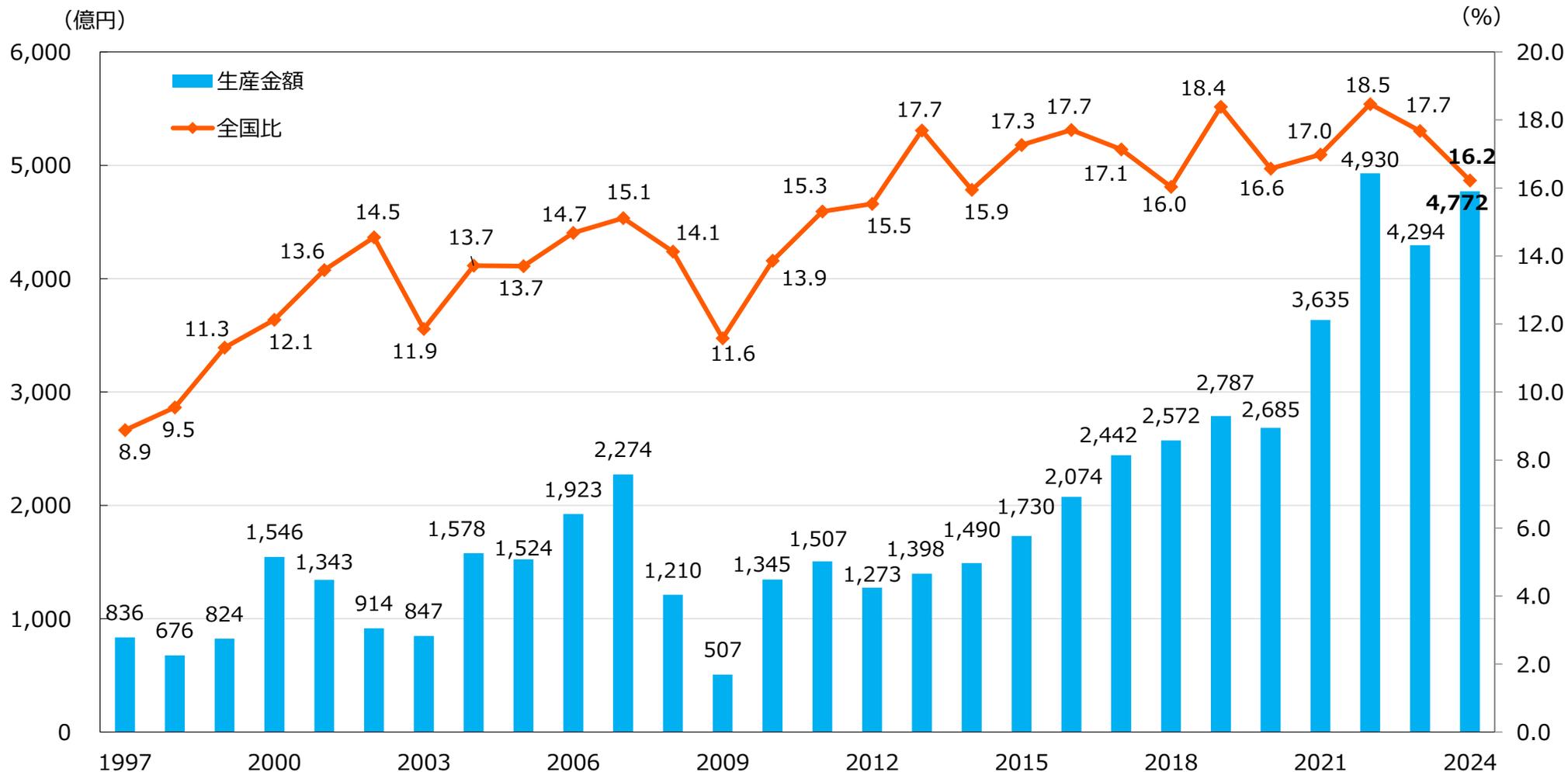
図表3-9 九州のIC生産金額・全国比の推移



3. 製造業 ー半導体関連産業（半導体製造装置生産金額）ー

2024年の半導体製造装置の生産金額は、国内外からの堅調な需要に支えられ、高水準の生産となった。

図表 3-10 九州の半導体製造装置生産金額・全国比の推移



(出所) 経済産業省「生産動態統計調査」

3. 製造業 - 自動車関連産業（自動車関連事業所の立地状況） -

九州には、北部に完成車メーカー4社が立地し、約154万台/年の生産能力を持つ、世界有数の生産拠点到成長。また、自動車部品の製造・加工等を担う関連企業も多く集積。

図表3-11 九州における主な自動車関連事業所



	日産自動車九州(株)	日産車体九州(株)	トヨタ自動車九州(株)			ダイハツ九州(株)	
			宮田工場	苅田工場	小倉工場	大分(中津)工場	久留米工場
生産開始	1976年12月 (車両生産)	2009年12月	1992年12月	2005年12月	2008年8月	2004年11月	2008年8月
生産能力	53万台	12万台	43万台	44万基	47万基	46万台	32.4万基
生産車種 (品目)	セレナ エクストレイル ローグ	パトロール インフィニティQX80 エルグランド キャラバン アルマーダ	レクサス ES レクサス UX レクサス RX レクサス NX	エンジン	ハイブリッド部品	タフト ミライース アトレー ハイゼットトラック ハイゼットカーゴ ムーヴキャンパス	エンジン トランスミッション部品

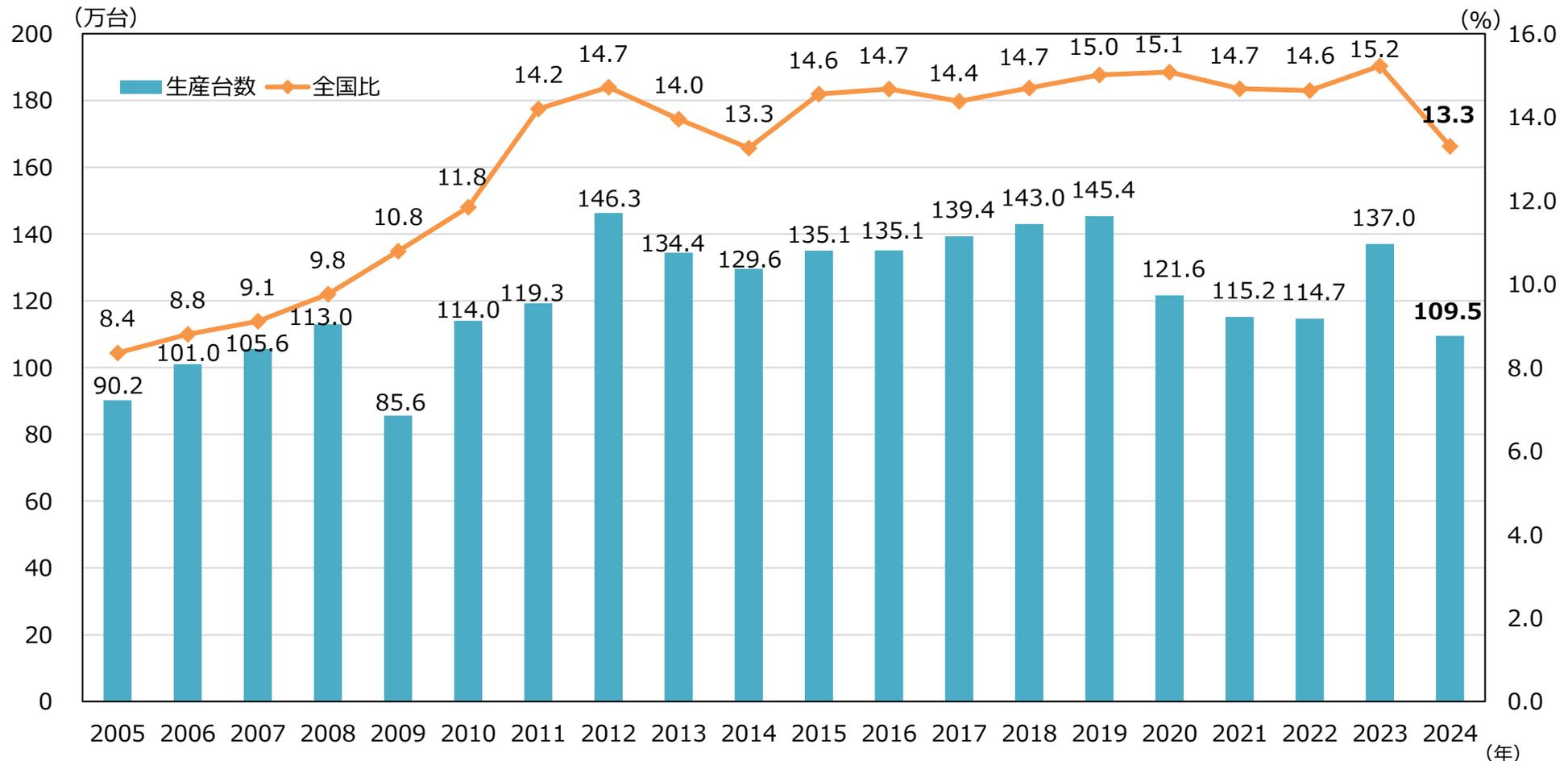
(写真) 各社ウェブサイト

(出所) 「北部九州自動車産業グリーン先進拠点プロジェクト」パンフレット等

3. 製造業 –自動車関連産業（四輪自動車生産台数）–

2024年の四輪自動車生産台数は、109.5万台（前年比▲20.1%）と、2年ぶりに減少。工場稼働停止や海外需要の下振れなどが生産活動に影響を与え、2005年以降、20年間で5番目に低い生産台数となった。

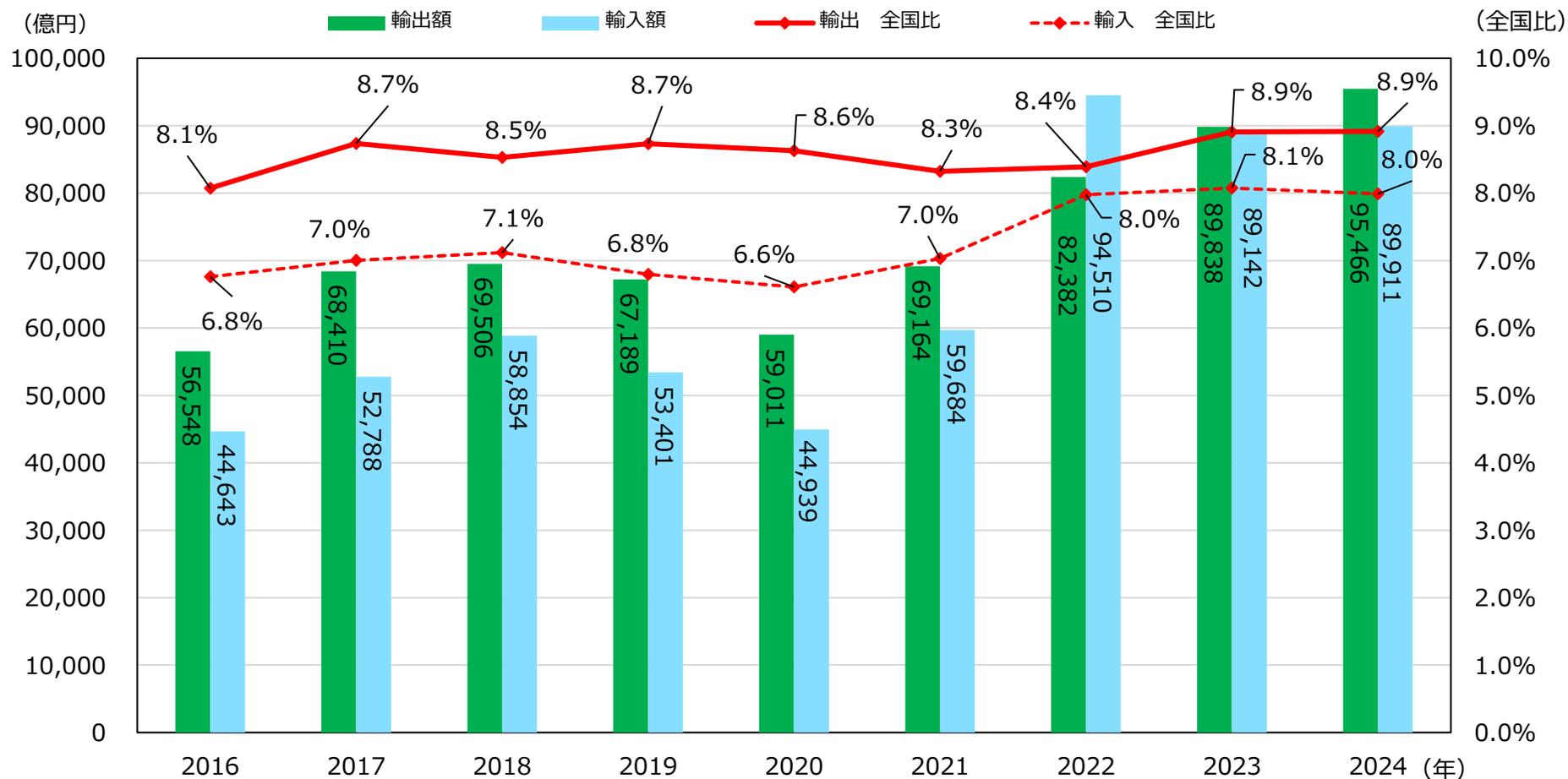
図表3-12 九州の四輪自動車生産台数・全国比の推移



4. 貿易 —輸出入額の推移—

2024年の九州の輸出額は9兆5,466億円（全国比8.9%）、輸入額は8兆9,911億円（全国比8.0%）と、輸出額は4年連続で前年を上回り、2年連続輸出超過となった。

図表4-1 輸出入額、全国比の推移

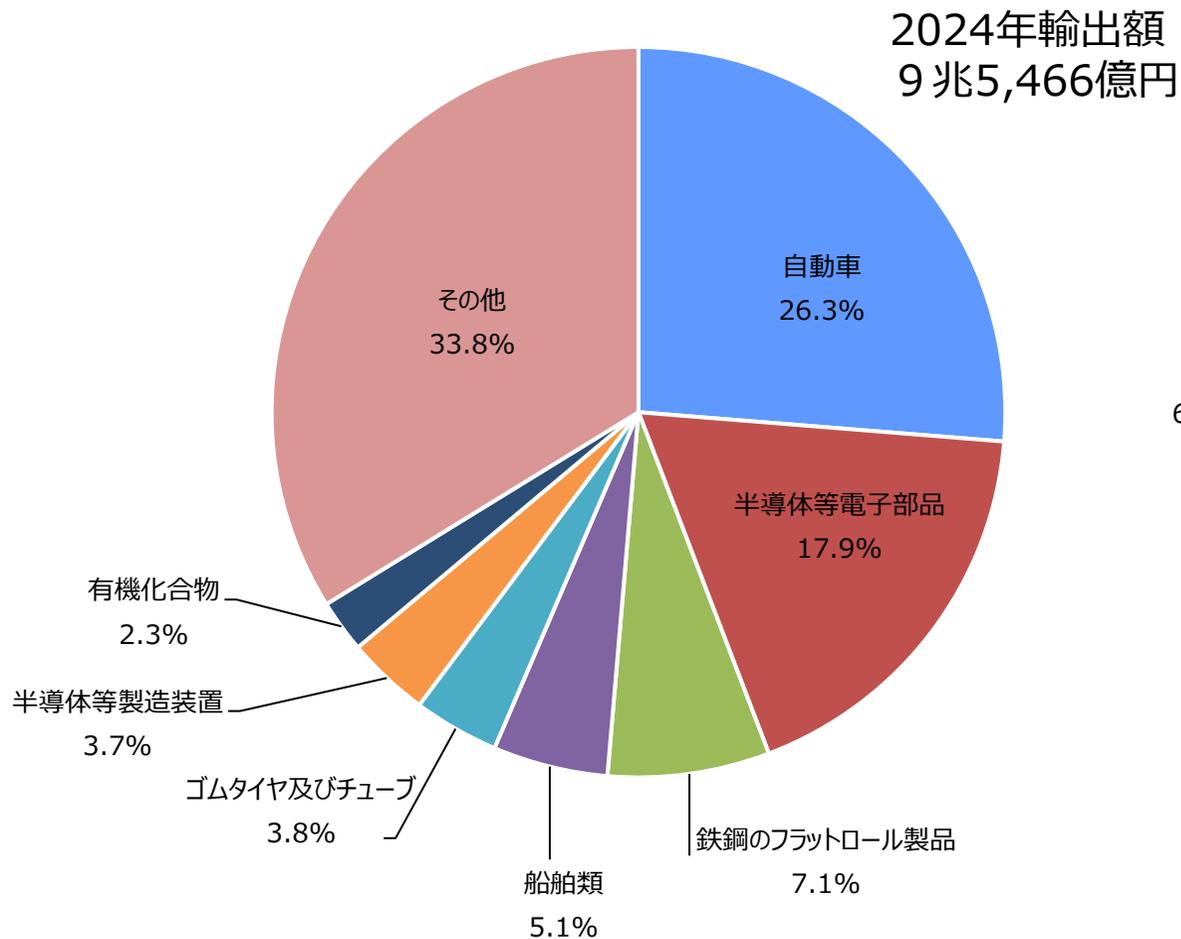


(出所) 財務省「貿易統計」

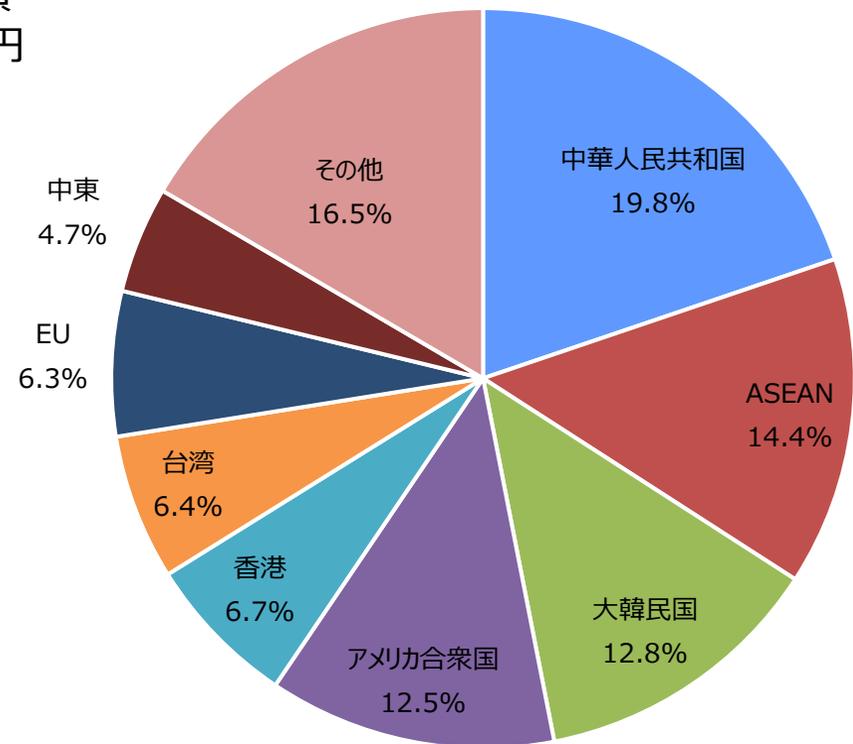
4. 貿易 —輸出品目、輸出先—

輸出品目は、自動車 that 26.3% と最も多く、次いで半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品と続く。国・地域別では、中国の割合が19.8% と最も多く、次いでASEAN、韓国と続く。

図表 4-2 輸出品目 (2024年)



図表 4-3 輸出先 (2024年)

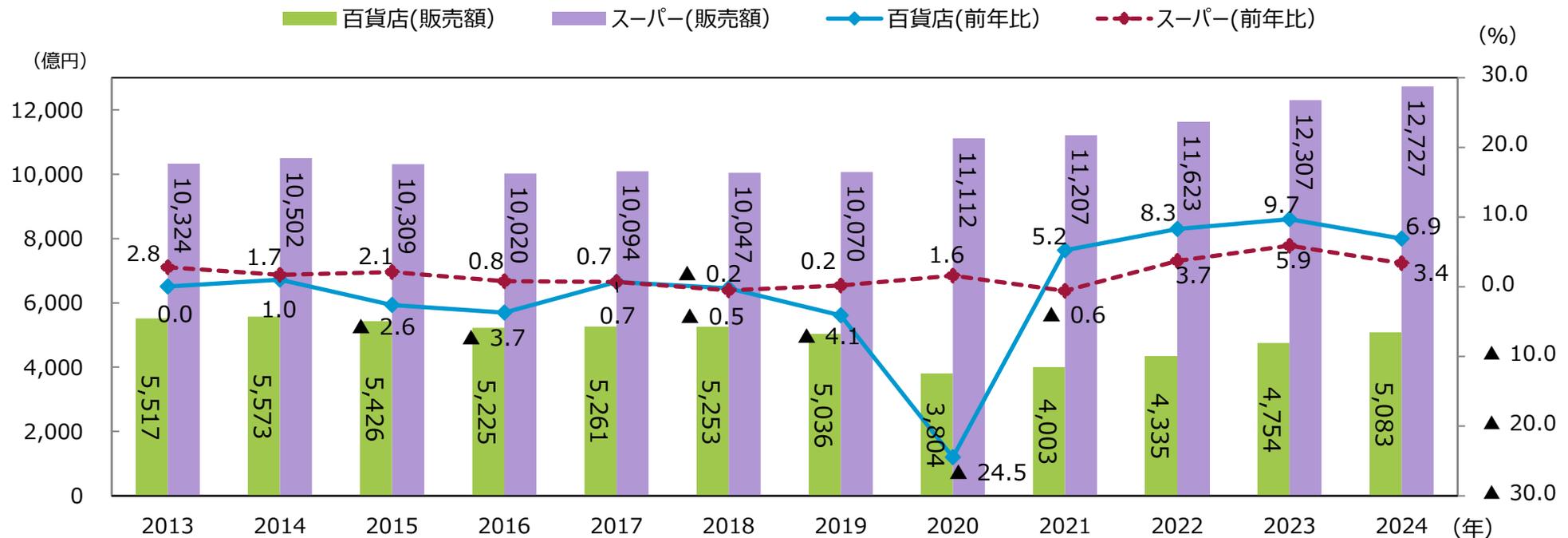


5. 消費 – 百貨店・スーパー販売額の推移 –

2024年の九州・沖縄の百貨店・スーパー販売額の前年比（全店）は+4.4%（1兆7,810億円、全国比8.0%）と4年連続で前年を上回った。

2024年の業態別前年比（全店）は、百貨店が前年比+6.9%（5,083億円、全国比8.0%）と4年連続の増加、スーパーが前年比+3.4%（1兆2,727億円、全国比7.9%）と3年連続の増加となった。

図表5-1 百貨店・スーパー業態別販売額の年別推移（九州・沖縄 全店）



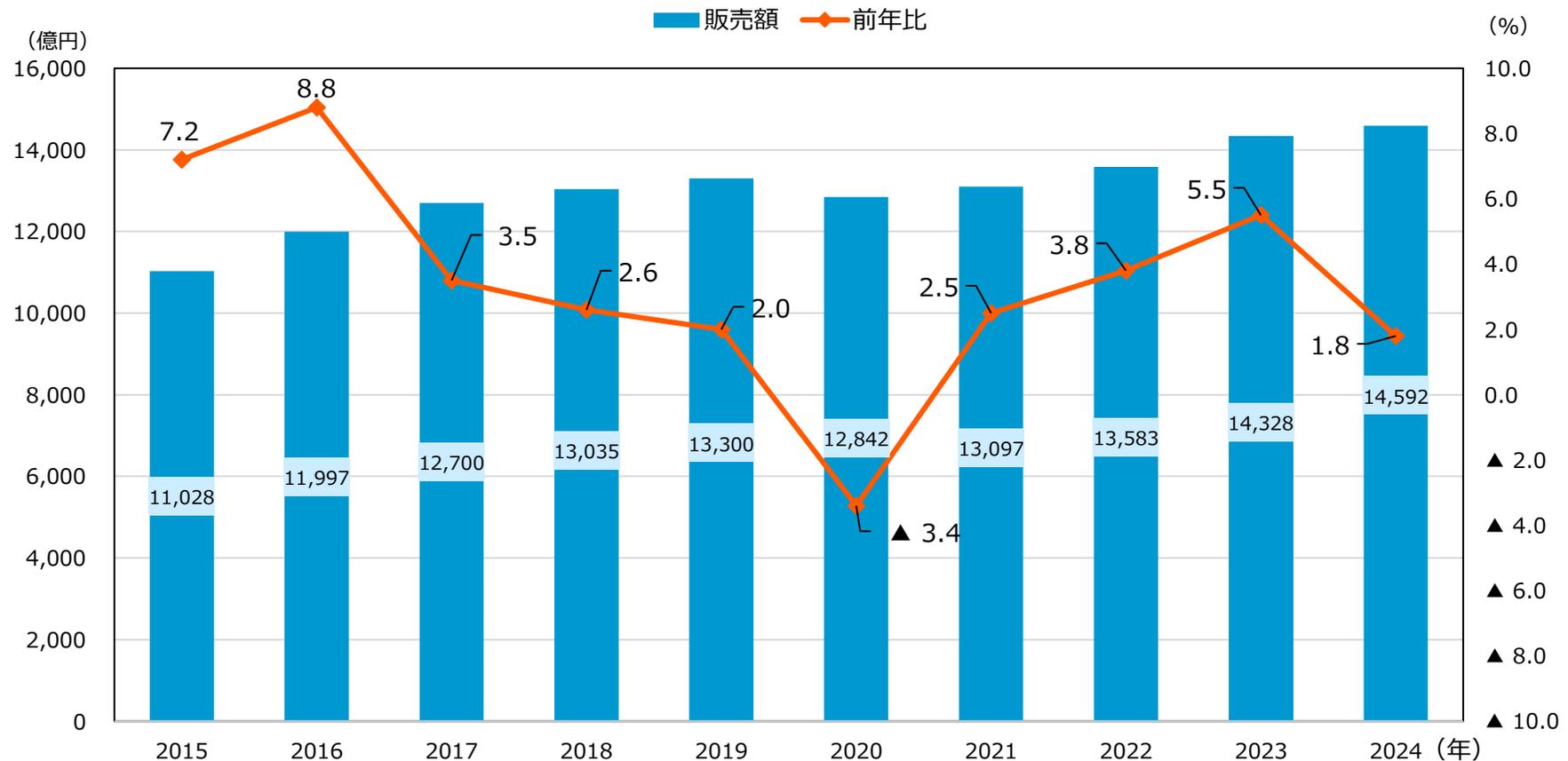
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 前年比はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算。

5. 消費 – コンビニエンスストア販売額 –

2024年の九州・沖縄のコンビニエンスストア販売額の前年比(全店)は+1.8%(1兆4,592億円、全国比11.3%)と4年連続で前年を上回った。

図表5-2 コンビニエンスストア販売額の年別推移(九州・沖縄 全店)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 前年比はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算。

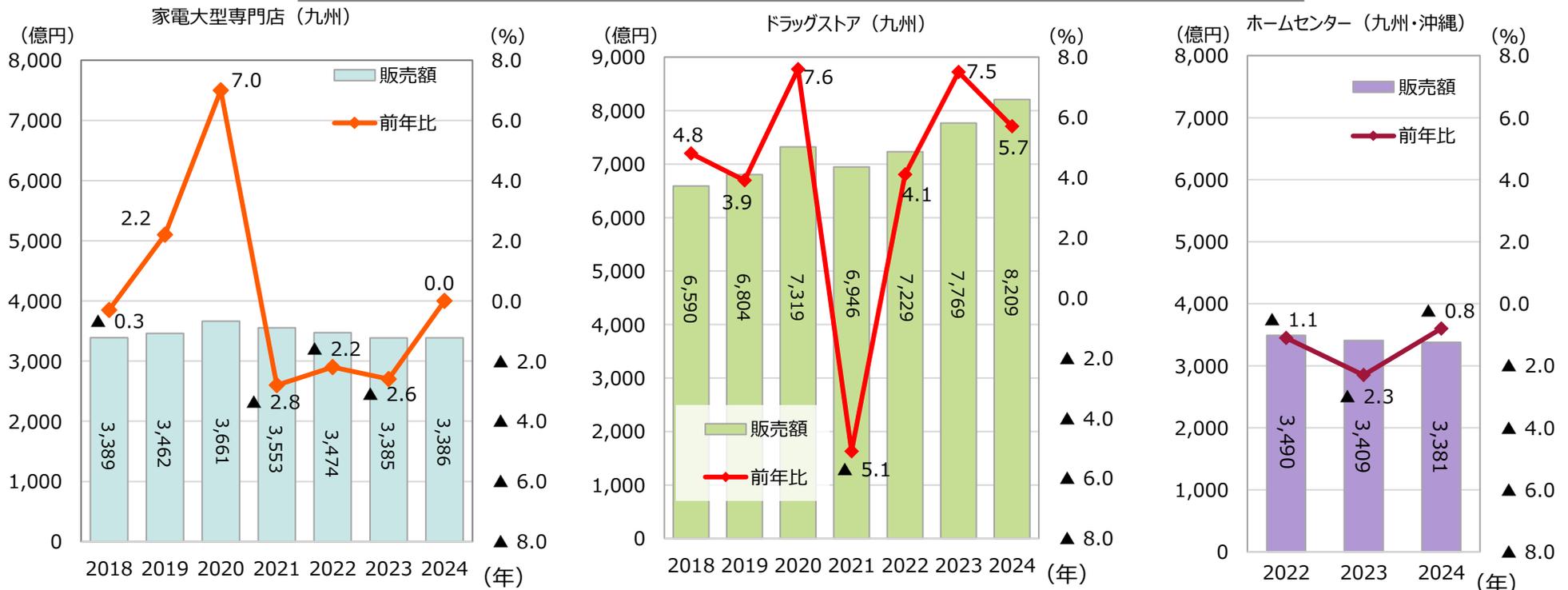
5. 消費 – 家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター –

2024年の九州の家電大型専門店販売額の前年比（全店）は0.0%（3,386億円、全国比7.2%）と前年から横ばいとなった。

九州のドラッグストア販売額の前年比（全店）は+5.7%（8,209億円、全国比9.2%）と3年連続で前年を上回った。

九州・沖縄のホームセンター販売額の前年比（全店）は▲0.8%（3,381億円、全国比9.9%）と3年連続で前年を下回った。

図表5-3 専門量販店業態別販売額の年別推移



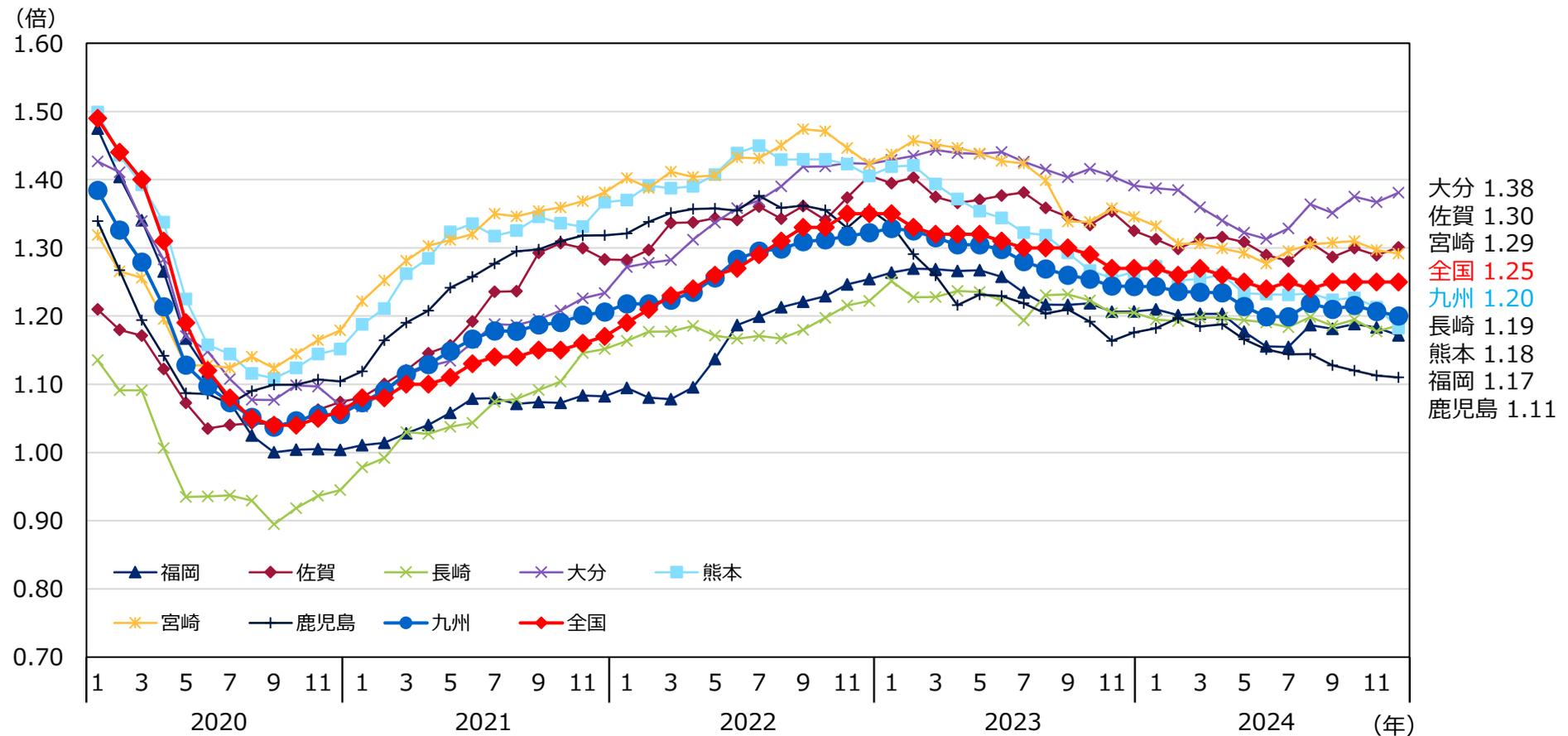
（出所）経済産業省「商業動態統計」

（注）前年比はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算。

6. 雇用 ―有効求人倍率―

2020年2月頃から新型コロナウイルス感染症の影響が現れ始めたことにより総じて低下傾向にあった九州地域の有効求人倍率は、2020年9月を底に改善傾向が続いたのち、横ばい傾向にある。

図表6 有効求人倍率の推移



(出所) 厚生労働省、各労働局

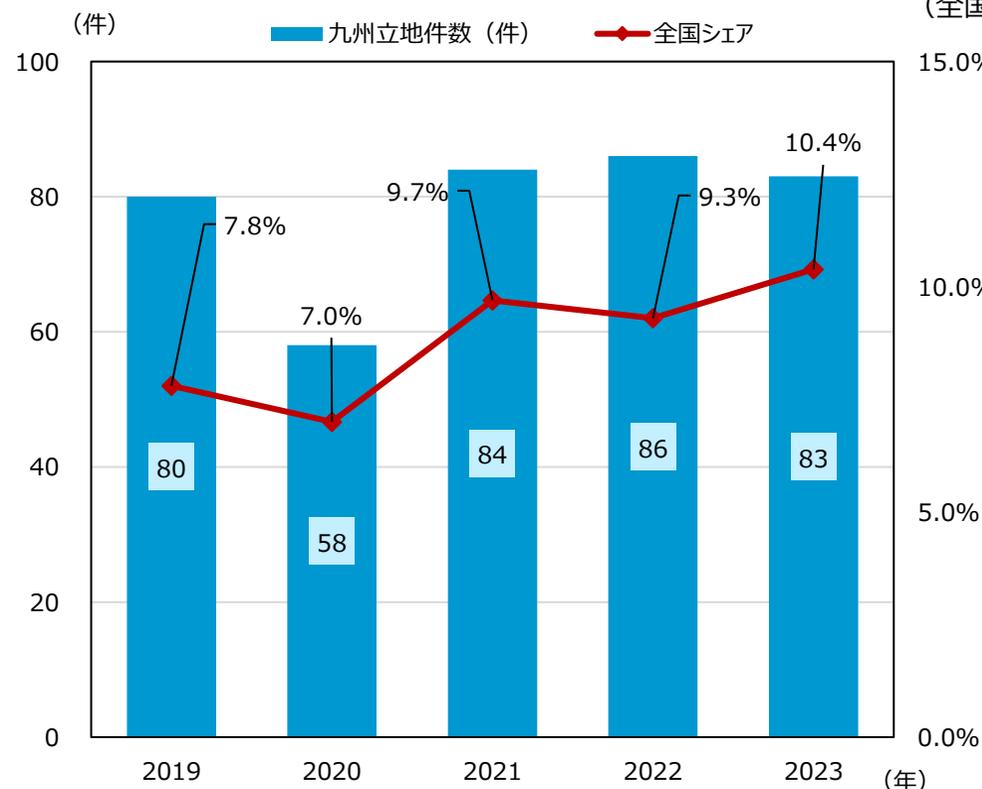
(注) 右数字は、2024年12月の有効求人倍率

7. 設備投資 –工場立地件数と立地面積–

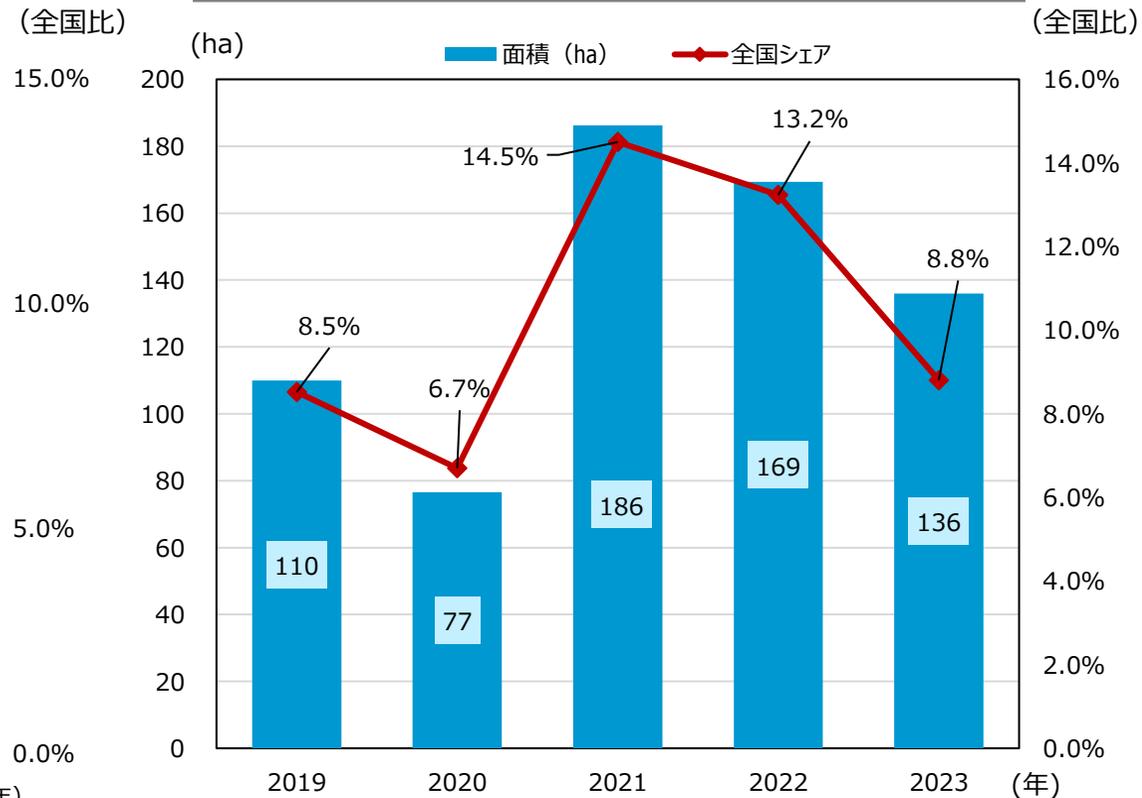
2023年の九州の工場立地件数は83件（前年比▲3.5%）となり、3年ぶりに減少し、全国に対する割合は10.4%となった。

立地面積は136ha（前年比▲19.7%）となり、2年連続減少し、全国に対する割合は8.8%となった。

図表 7-1 九州の工場立地件数の推移



図表 7-2 九州の工場立地面積の推移

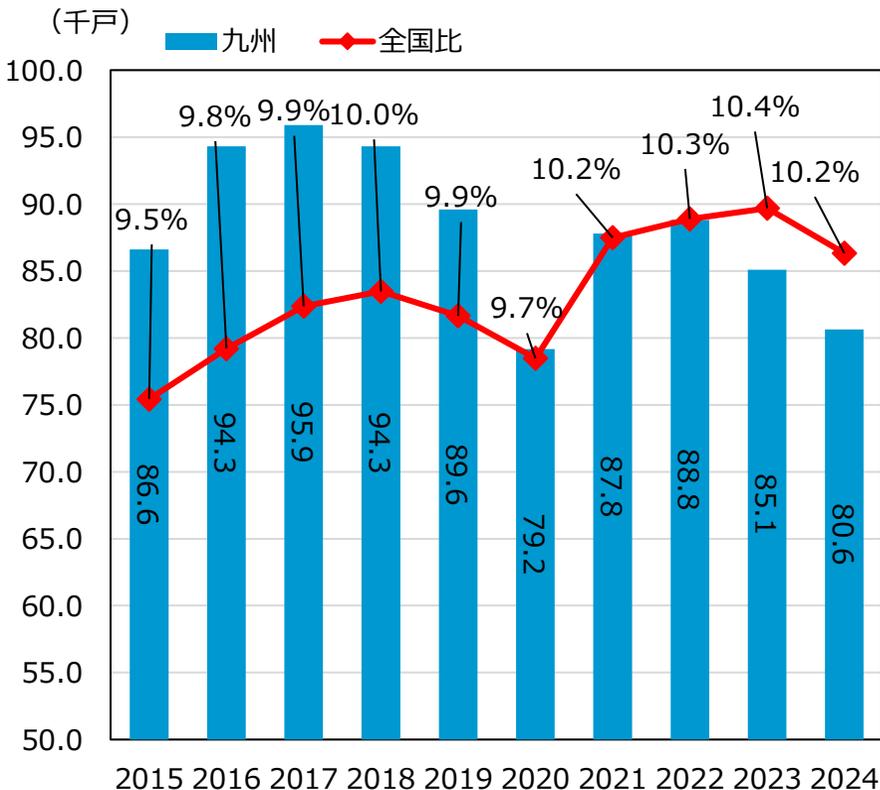


8. 住宅－新設住宅戸数、床面積－

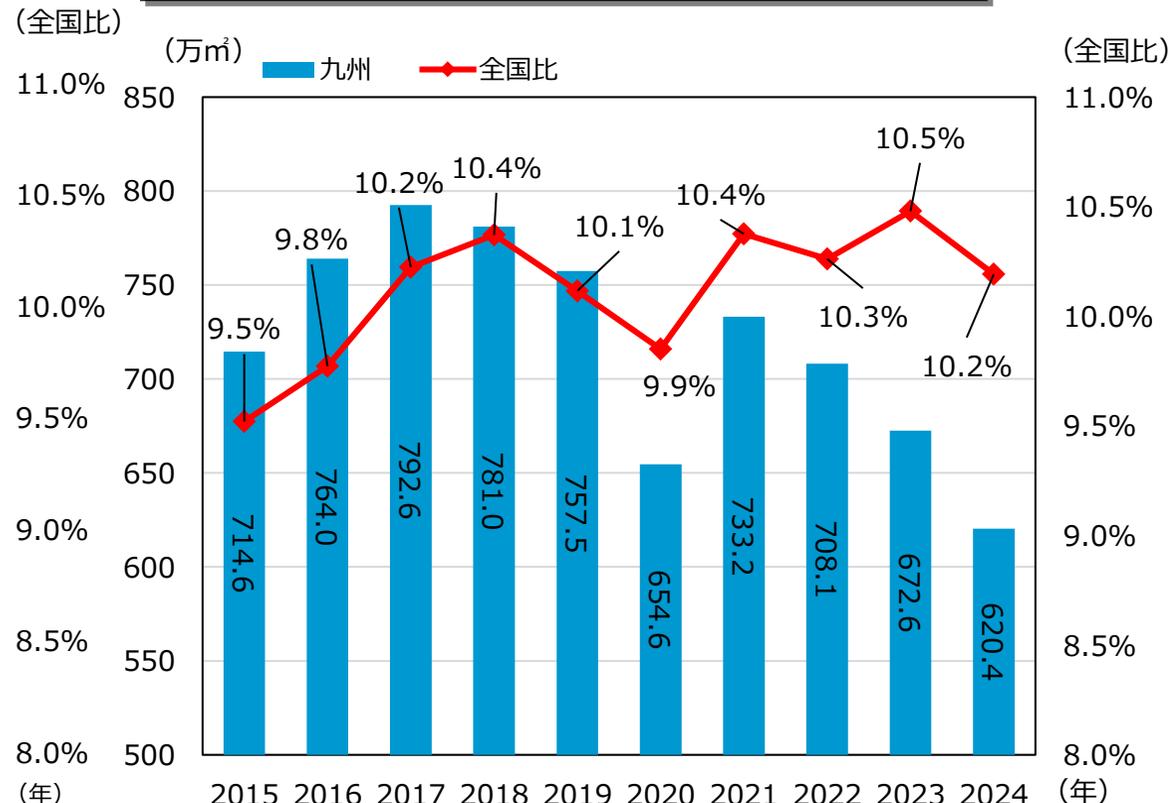
2024年の九州の新設住宅戸数は、8万626戸（前年比▲5.2%）となり、2年連続で前年を下回った。また、全国では約79万戸となり、九州のシェアは10.2%となった。

2024年の九州の新設住宅床面積は、約620万㎡（前年比▲7.8%）となり、3年連続で前年を下回った。また、全国では約6,087万㎡となり、九州のシェアは10.2%となった。

図表 8 - 1 九州の新設住宅戸数・全国比の推移



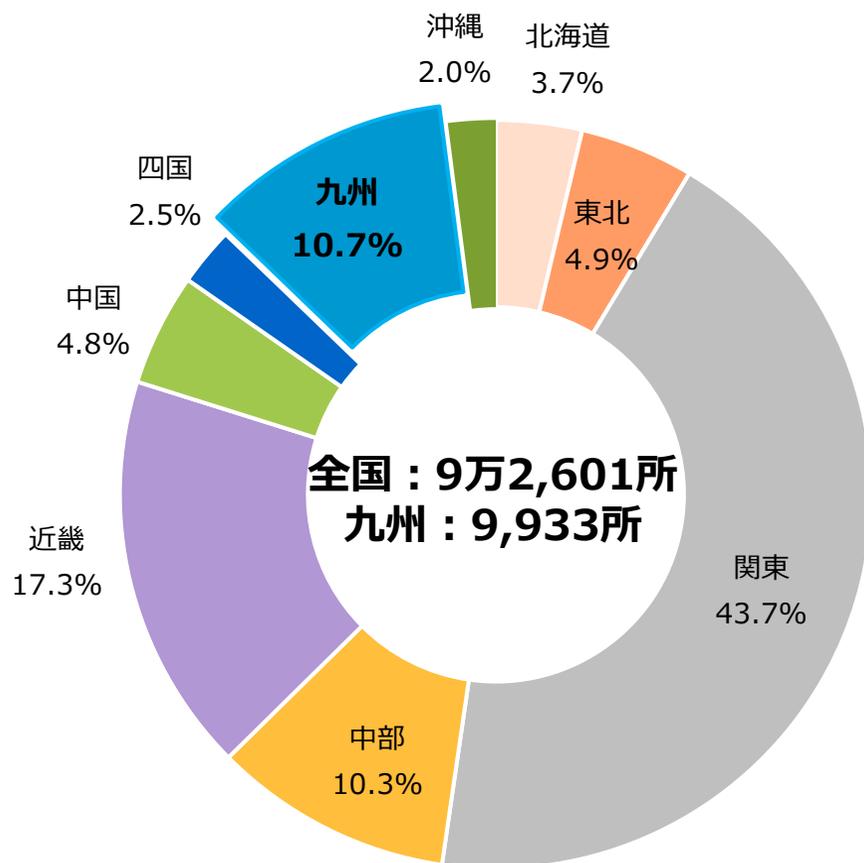
図表 8 - 2 九州の新設住宅 床面積 (合計)・全国比の推移



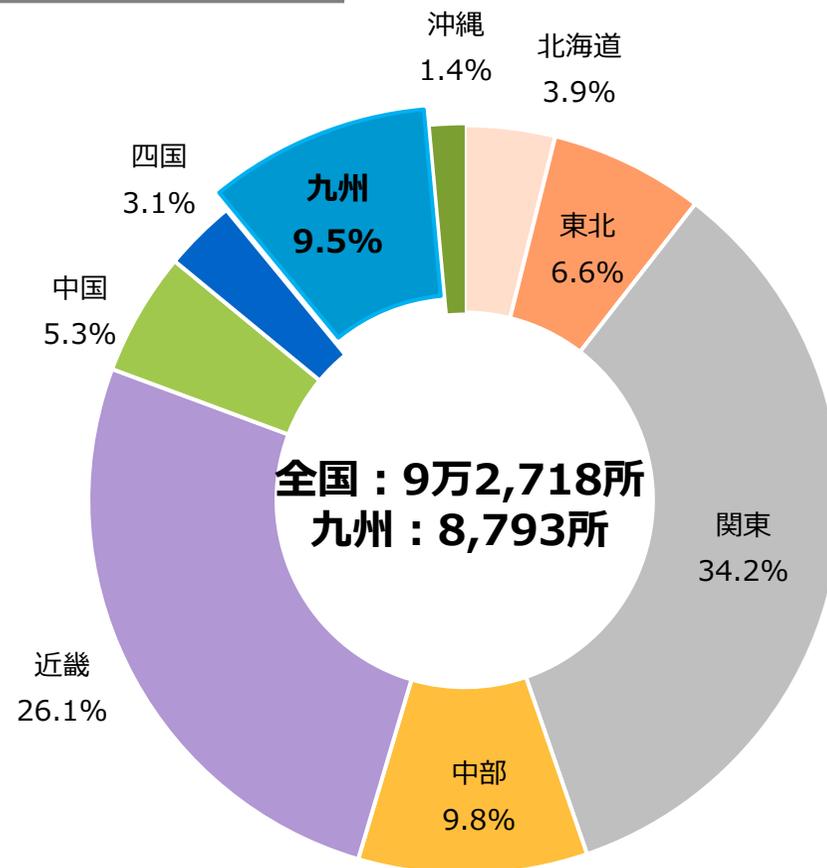
9. 開業・廃業 —事業所数—

2023年度に九州で開業した事業所数は9,933事業所で、全国の10.7%を占めた。また、廃業した事業所数は8,793事業所で、全国の9.5%を占めた。

図表9-1 ブロック別開業数



図表9-2 ブロック別廃業数



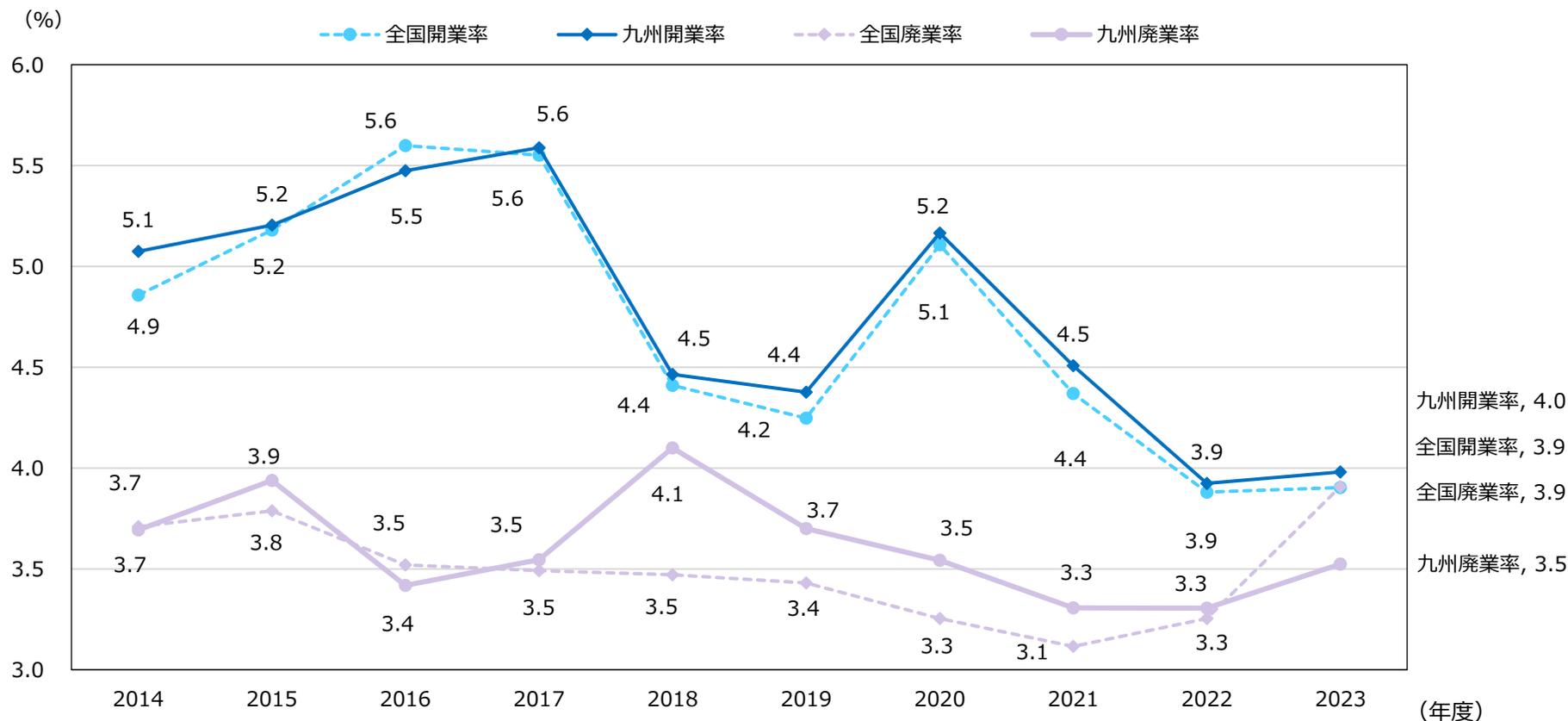
(出所) 厚生労働省「雇用保険事業年報」

(注) 上記グラフは、事業所における雇用間関係が成立、消滅したことをもってそれぞれ開業、廃業とみなしている。

9. 開業・廃業 —開廃業率—

2023年度の九州の開業率は4.0%で3年ぶりに前年を上回った。また、廃業率は3.5%で5年ぶりに前年を上回った。九州の開業率は全国を上回り、廃業率は全国を下回った。

図表9-3 九州の開業率・廃業率の推移



(出所) 厚生労働省「雇用保険事業年報」

(注) 開業率・廃業率は、以下の式により算出

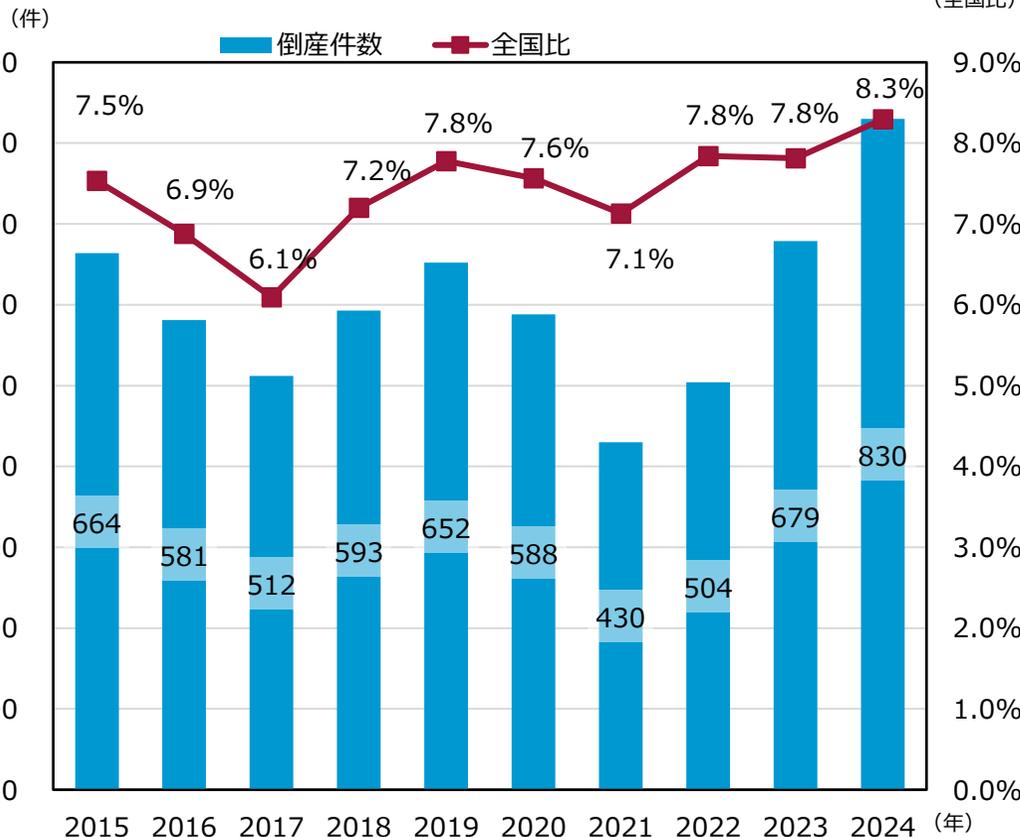
開業(廃業)率(%) = [当該年度の保険関係新規成立(消滅)事業所数/前年度末の適用事業所数]

10. 倒産 一件数の推移、産業別件数一

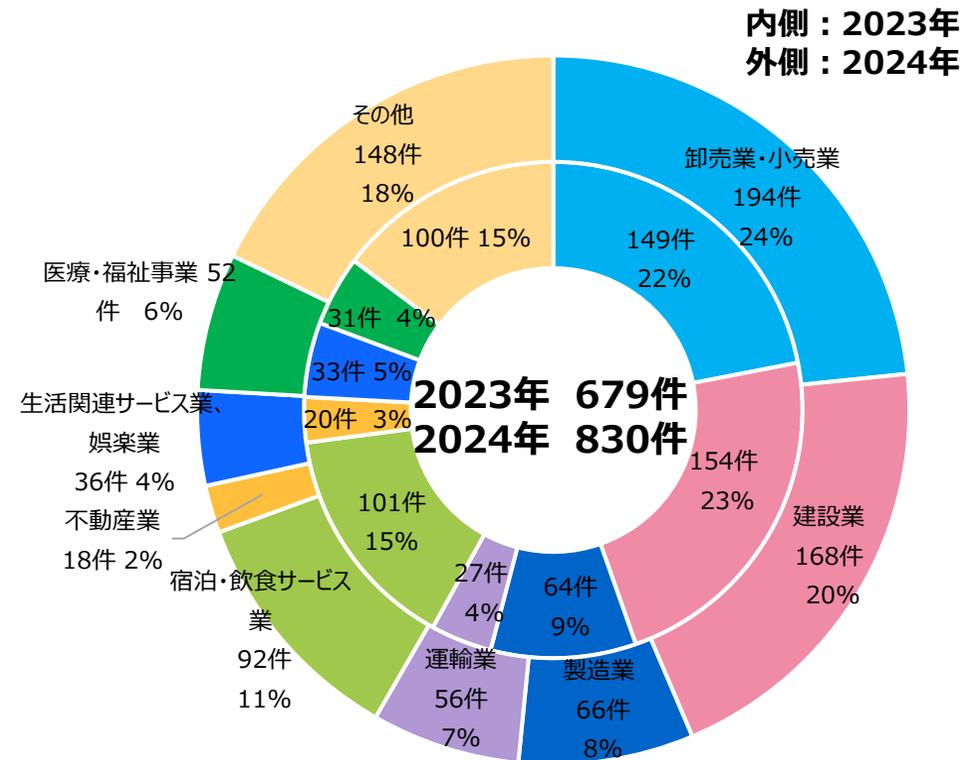
2024年の九州の倒産件数（負債額1,000万円以上）は、830件（前年比＋22.2%）と3年連続で増加した。

産業別件数の割合では、2023年と比較して運輸業、卸売業・小売業、医療・福祉事業等が多くなっている。

図表10-1 倒産件数と全国比の推移



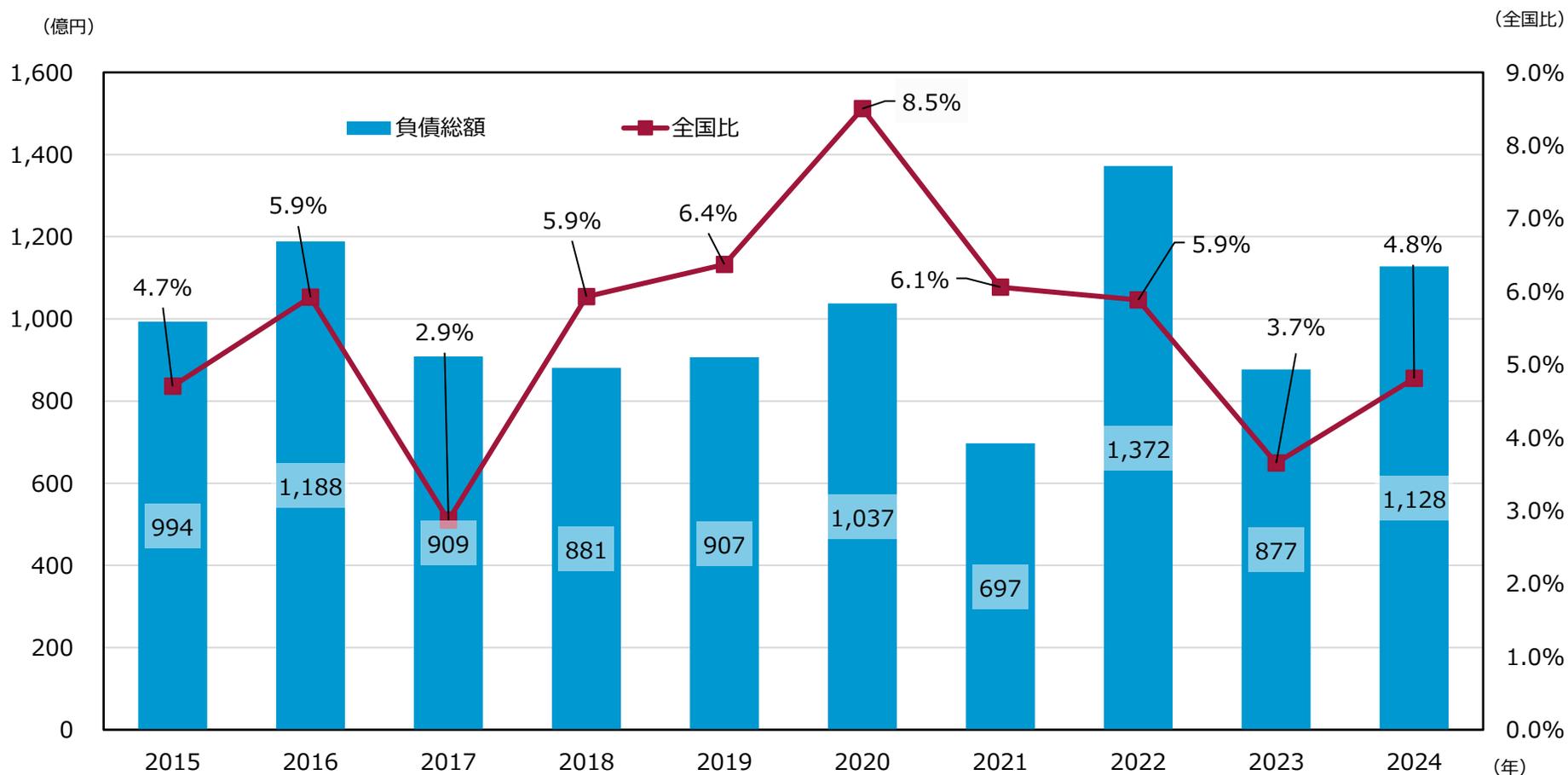
図表10-2 産業別件数、割合



10. 倒産 - 負債総額推移 -

2024年における九州の倒産企業の負債総額は、1,128億円（前年比+28.5%）となり、2年ぶりに増加した。

図表10-3 負債総額と全国比の推移



(出所) (株)東京商工リサーチ

[参考] 各県の概況

		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	九州	全国
1	人口(千人) 2024年	5,095	801	1,290	1,728	1,113	1,059	1,576	12,662	124,885
	国内順位	8位	42位	30位	23位	33位	35位	24位	-	-
	構成比(全国=100)	4.1%	0.6%	1.0%	1.4%	0.9%	0.8%	1.3%	10.1%	100.0%
	生産年齢人口比	59.1%	55.7%	54.0%	55.1%	54.7%	54.0%	53.9%	56.4%	59.7%
	高齢化率(65歳~)	28.0%	31.3%	34.0%	32.1%	33.7%	33.3%	33.3%	31.0%	28.8%
2	面積(km ²) 2025年	4,988	2,441	4,131	7,409	6,341	7,734	9,186	42,230	377,976
	国内順位	29位	42位	37位	15位	22位	14位	10位	—	—
3	世帯数(千世帯) 2024年	2,544	346	634	811	549	533	813	6,230	60,779
	国内順位	9位	43位	28位	23位	32位	34位	22位	—	—
4	就業者数(千人) 2020年	2,253	400	618	819	520	499	738	5,848	57,643
	構成比(全国=100)	3.9%	0.7%	1.1%	1.4%	0.9%	0.9%	1.3%	10.1%	100.0%
	1次産業比率	2.4%	7.4%	6.6%	8.8%	6.1%	9.9%	8.3%	5.8%	3.4%
	2次産業比率	19.4%	23.5%	18.8%	20.7%	22.6%	20.4%	18.8%	20.1%	23.0%
	3次産業比率	74.9%	66.9%	72.2%	68.5%	69.3%	67.8%	71.1%	71.6%	70.6%
分類不能	3.3%	2.2%	2.3%	2.0%	1.9%	1.9%	1.8%	2.5%	3.0%	
5	事業所数(民営) 2021年	210,530	35,815	58,382	72,744	50,589	48,940	71,793	548,793	5,156,063
	構成比(全国=100)	4.1%	0.7%	1.1%	1.4%	1.0%	0.9%	1.4%	10.6%	100.0%

(出所) 1, 3 : 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(令和6年1月1日現在)、2 : 国土交通省「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」
4 : 総務省「令和2年国勢調査」、5 : 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

(注) 「事業所数」は、民営の事業所数。事業内容等不詳は除く。

[参考] 各県の概況

		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	九州	全国
6	県内総生産(兆円) 2021年度(名目)	19.5	3.2	4.6	6.4	4.7	3.7	5.9	48.0	577.4
	国内順位	9位	44位	32位	24位	30位	39位	26位	—	—
	構成比(全国=100)	3.4%	0.6%	0.8%	1.1%	0.8%	0.6%	1.0%	8.3%	100.0%
	1次産業比率	0.6%	2.3%	2.4%	2.7%	1.7%	4.7%	4.5%	2.1%	0.9%
	2次産業比率	19.6%	31.0%	23.8%	28.7%	33.8%	25.0%	23.0%	24.2%	27.0%
	3次産業比率	78.8%	66.0%	72.8%	67.6%	63.9%	69.6%	71.4%	72.8%	71.5%
7	県民所得(兆円) 2021年度	14.0	2.2	3.3	4.7	3.1	2.6	4.1	34.0	417.9
	1人当り県民所得(千円)	2,733	2,744	2,571	2,746	2,769	2,409	2,605	2,679	3,330
	国内順位	37位	35位	43位	34位	33位	46位	42位	—	—
8	純付加価値額(億円) 2021年	87,345	10,849	14,886	21,759	14,661	13,149	20,521	183,170	3,362,595
9	製造品出荷額等(億円) 2022年	103,315	22,944	15,718	34,786	56,034	18,310	24,147	275,255	3,617,749
	国内順位	11位	37位	43位	28位	22位	40位	36位	—	—
	構成比(全国=100)	2.9%	0.6%	0.4%	1.0%	1.5%	0.5%	0.7%	7.6%	100.0%
10	卸売販売額(億円) 2021年	164,203	9,796	15,504	24,059	12,457	16,374	23,744	266,138	4,016,335
	構成比(全国=100)	4.1%	0.2%	0.4%	0.6%	0.3%	0.4%	0.6%	6.6%	100.0%
11	小売販売額(億円) 2021年	56,780	8,290	12,493	18,859	11,867	10,764	15,292	134,345	1,381,804
	構成比(全国=100)	4.1%	0.6%	0.9%	1.4%	0.9%	0.8%	1.1%	9.7%	100.0%

(出所) 6, 7:「令和3年度県民経済計算」、8, 10, 11:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」、9, 総務省・経済産業省「令和5年経済構造実態調査」

(注) 「県内総生産」の産業比率は、分母を県内総生産として算出

[参考] 各県の概況

		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	九州	全国
12	農業産出額(億円) 2023年	2,096	1,284	1,590	3,757	1,342	3,720	5,438	19,227	95,579
	国内順位	17位	27位	23位	5位	25位	6位	2位	—	—
	構成比(全国=100)	2.2%	1.3%	1.7%	3.9%	1.4%	3.9%	5.7%	20.1%	100.0%
13	海面漁業漁獲量(t) 2023年	18,548	6,286	292,890	12,378	19,909	82,611	45,724	478,346	2,926,411
	国内順位	27位	36位	2位	32位	25位	8位	16位	—	—
	構成比(全国=100)	0.6%	0.2%	10.0%	0.4%	0.7%	2.8%	1.6%	16.3%	100.0%
14	海面養殖業漁獲量(t) 2023年	28,613	38,442	22,532	47,864	16,388	15,005	45,127	213,971	851,509
	国内順位	11位	9位	12位	7位	17位	19位	8位	—	—
	構成比(全国=100)	3.4%	4.5%	2.6%	5.6%	1.9%	1.8%	5.3%	25.1%	100.0%
15	林業産出額(億円) 2023年	153	20	60	164	188	295	99	979	4,751
	国内順位	8位	39位	26位	7位	6位	4位	14位	—	—
	構成比(全国=100)	3.2%	0.4%	1.3%	3.5%	3.9%	6.2%	2.1%	20.6%	100.0%

(出所) 12:農林水産省「令和5年生産農業所得統計」、13,14:農林水産省「令和5年漁業・養殖業生産統計」、15:農林水産省「令和5年林業産出額」